

令和6年

臨床実習の手引き
〔臨床実習Ⅰ〕

島根大学医学部

臨床実習について

本学医学科における臨床実習は、4年次1月から6年次7月までの間に72週間(変更になることがあります)にわたって、病棟および外来での実習(本学医学部附属病院を中心に関連教育病院・診療所を含む)で行われる重要な卒前医学教育課程である。

実習は、以下の3つの実習から構成されている。

1. 臨床実習 I (44週)

- 小児科、産科婦人科、精神科神経科、総合診療／地域医療学:各4週
- 内科系診療科:血液内科、膠原病内科、呼吸器内科、内分泌内科、腫瘍内科、循環器内科、消化器内科(肝臓内科を含む)、腎臓内科、脳神経内科(脳卒中センターを含む)、放射線科、放射線治療科、リハビリテーション科、臨床検査(薬剤部、臨床研究センター、病理)、緩和ケア、(精神科、小児科、総合診療科):各1週
- 外科系診療科:外傷センター、眼科、救急科、形成外科、呼吸器外科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、循環器外科、消化器総合外科(乳腺外科、小児外科を含む)、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、(産婦人科):各1週

2. 臨床実習 II (28週)

- 内科系診療科:血液内科、膠原病内科、呼吸器内科、内分泌内科、腫瘍内科、循環器内科、消化器内科(肝臓内科を含む)、腎臓内科、脳神経内科(脳卒中センターを含む)、放射線科、放射線治療科、リハビリテーション科、臨床検査、病理、緩和ケア、(精神科神経科、小児科、総合診療)
- 外科系診療科:外傷センター、眼科、救急科、形成外科、呼吸器外科、歯科口腔外科、耳鼻咽喉科、循環器外科、消化器総合外科(乳腺外科、小児外科を含む)、整形外科、脳神経外科、泌尿器科、皮膚科、麻酔科、(産婦人科)

3. フレキシブル実習

まず、4-5年次の臨床実習 I においては、附属病院の全診療科をローテーションして実習を行う。この時、小児科、産科婦人科、精神科神経科、総合診療／地域医療学は4週間連続の実習を行う。それ以外は、1週間の実習である。5-6年次の臨床実習 II では、内科系診療科と外科系診療科をそれぞれ3つずつ計6診療科を選択して、それぞれ4週間連続の実習を行う。残りの4週間はフレキシブル研修として、本院での実習だけでなく県内外の病院や海外研修などを行うことができる。

臨床実習は、可能な限り、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加する診療参加型形式の実習(クリニカルクラークシップ)を行うようにしており、実習の到達度については、学生、教員双方が端末から CC-EPOC に入力する。臨床実習は、学生自身が直接患者さんに接して実習を行うものであり、とりわけ、クリニカルクラークシップにおいては、当然のこととして、学生にも一定レベル以上の医学知識・技術・態度が求められ、自らの主体性と責任感をもった上で実習に臨む必要があり、本手引きに記載されている注意事項を事前に熟読し、実習に臨まなければならない。

目 次

I. クリニカルクラークシップとは	1
II. 学習目標	1
III. 医学生の臨床実習において、一定条件下で許容される基本的医行為	1
IV. クリニカルクラークシップにおける 1 日の流れ	2
V. 学生の正規カルテへの記録について	3
VI. 個人情報保護について	4
VII. 学生の遵守事項	4
VIII. 評価・単位認定の要件	7
IX. 感染事故への対応	8
X. 賠償責任保険加入の勧め	9
XI. 臨床技能開発ラボ備品一覧	10

臨床実習 I

臨床実習 I グループ別日程表	14
内分泌代謝内科	15
血液内科	17
腫瘍内科	19
消化器内科・肝臓内科	21
脳神経内科	23
膠原病内科	25
循環器内科	27
腎臓内科	29
呼吸器・臨床腫瘍学（呼吸器・化学療法内科）	31
皮膚科	33
形成外科	35
小児科	37
消化器・総合外科	42
循環器・心臓血管外科	44
呼吸器外科	46
整形外科	48
リハビリテーション科	50
脳神経外科	52
泌尿器科	54

精神科神経科	55
産科婦人科	58
耳鼻咽喉・頭頸部外科	65
眼科	66
放射線科	67
放射線治療科	69
麻酔科	71
緩和ケア科	72
歯科口腔外科	74
臨床検査医学 検査部・輸血部・病理部・薬剤部	76
救急科	79
Acute Care Surgery	81
医学部附属病院案内図	84

I. クリニカルクラークシップとは

クリニカルクラークシップ (clinical clerkship) とは、従来の見学型臨床実習とは異なり、学生が医療チームの一員として実際の診療に参加し、より実践的な臨床能力を身に付ける**臨床参加型実習**のことである。クラーク (clerk) とは、書記、事務員を意味しており、学生が上級医の指導の下で「クラーク」として患者を受け持つことで実際の医療の基本を修得する。従って、クリニカルクラークシップでは、学生は student doctor として診療に参加し、指導医の指導・監視の下で一定の範囲内の医行為を実践することが許容される。学生は、自らの主体性と責任感をもって学ぶことが求められている。

II. 学習目標

将来医師として必要な以下に示す実践的臨床能力を修得することを目標とする。

- ◆ 患者や指導医、病棟スタッフと良好な関係を築く能力
- ◆ 患者から情報を的確に聞きだし、まとめる能力
- ◆ 身体所見を正しくとり、診療内容を記載する能力
- ◆ 要点を把握し、プレゼンテーションする能力
- ◆ 基本的検査・基本的操作処置を実施する能力
- ◆ 問題点を抽出し、解決に向かって系統的にアプローチする能力
- ◆ 患者から得た情報と臨床病態学の知識を統合する能力
- ◆ 学習に必要な情報を図書館やコンピューターを使って見つける能力

III. 医学生の臨床実習において、一定条件下で許容される基本的医行為

レベル I	指導医の指導・監督のもとに実施が許容されるもの
レベル II	状況によって指導医の指導・監視のもとに実施が許容されるもの
レベル III	原則として指導医の実施の介助又は見学にとどめるもの

IV. クリニカルクラークシップにおける1日の流れ

《初日のオリエンテーション》

- ◆ 初日、学生は指定された場所に集合し、オリエンテーションを受ける。時間厳守する。
- ◆ 指導医より、診療チームの紹介および受け持ち患者の紹介などが行われる。また、指導医等との連絡方法を確認する。
- ◆ 回診、症例カンファレンス、レクチャーなど当該診療科での行事およびプレゼンテーションについて確認する。
- ◆ ポートフォリオの1-4ページを記載する。

《毎日の流れ》

- ◆ 自己健康管理票の症状の欄に1つでもチェックが入った場合、院内に入らず、実習の可否を指導医に連絡する。
- ◆ 自己健康管理票および実習日誌に指導医の押印あるいは署名をもらう。
- ◆ 指導医が朝病棟に来る前に、受け持ち患者の看護記録に目を通したうえで自分で回診・診察し病状を把握する。また、問題点を整理しておく。
- ◆ 毎朝のチーム回診に参加し、受け持ち患者については口頭で提示する。
- ◆ 指導医とディスカッションを行い、今後の方針を決定すると同時に、診察内容を電子カルテに記載して、指導医に記載内容を依頼する。この際、記載内容についての指導医の点検（加筆・訂正）をうけ、署名をしてもらう。
- ◆ 不明な点や問題点は指導医と相談するが、自主的に文献等を検索して解決へ向けての学習を行う。
- ◆ 症例カンファレンス、レクチャーには必ず参加し、受け持ち患者についてはプレゼンテーションを行う。
- ◆ 新患の医療面接や身体診察を行い、回診やカンファレンスでプレゼンテーションを行う。
- ◆ 受け持ち患者の検査、処置、手術、他科紹介等には必ず出向き、指導医の指導を受ける。
- ◆ 医行為は、水準によっては指導医の指導のもと実施する。
- ◆ 患者、家族に対する病状説明や治療方針の話し合いなどにも参加する。
- ◆ 病棟を離れる場合は、指導医の許可を得る。
- ◆ 帰宅時は、必ず指導医に報告し、その日のまとめとチェックをしてもらう。

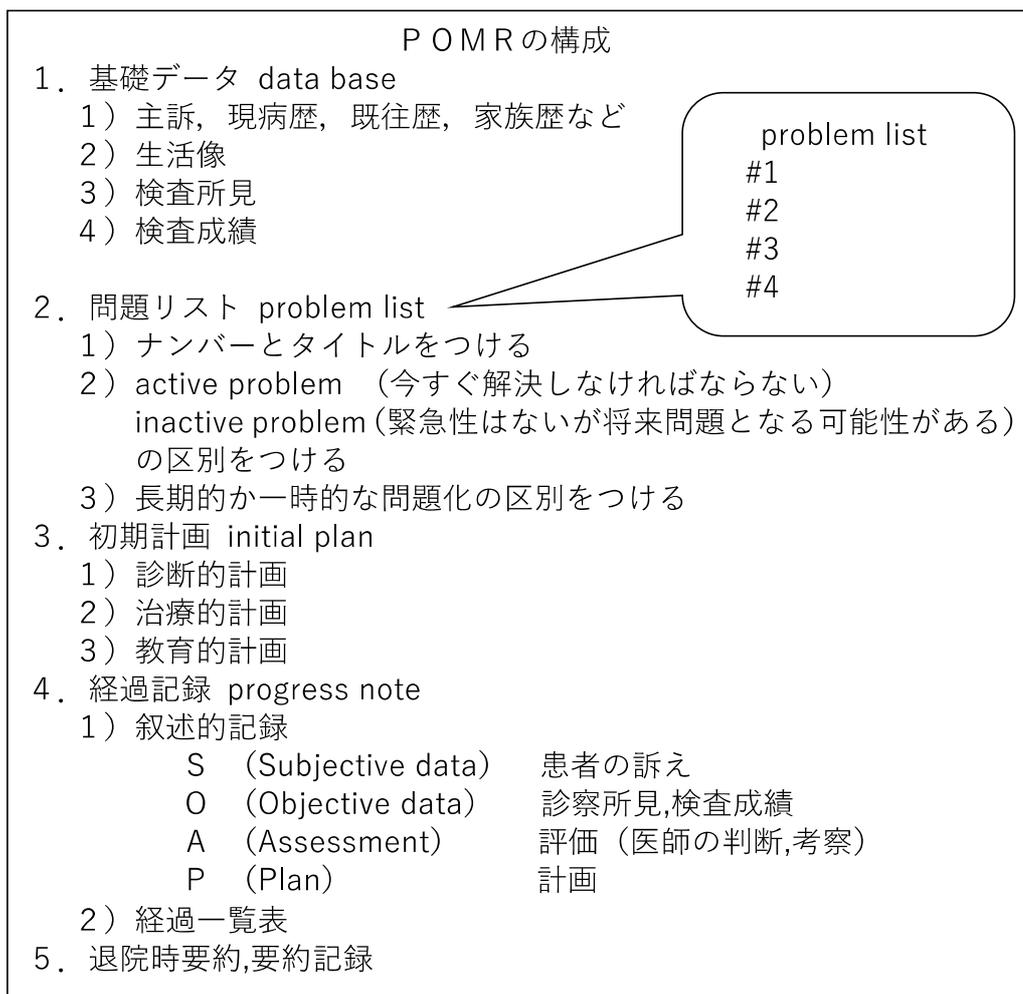
V. 学生の正規カルテの記載について

《カルテの位置づけ》

- ◆ カルテ（診療録）は患者のものであり、かつ公文書である。
- ◆ カルテは医師だけでなく医療チーム全体が使用し利用するものである。
- ◆ カルテは開示を前提に記載する。
- ◆ 学生の正規カルテの記載は、医師の補助者による記録として扱われる（看護師による看護記録と同様）。

《カルテの管理》

- ◆ 個人情報（プライバシー）の保護、遵守には格別留意する。
- ◆ カルテの持ち出し、コピーは厳禁である。
- ◆ POMR とは、POS (Problem Oriented System: 問題志向型診療システム) に基づいて系統的・合理的思考に従って診療の過程を記録することである。
- ◆ 第2病日以降の症状、診察所見等は SOAP (Subjective、Objective、Assessment、Plan) 形式で記載する。



《カルテの入力》

- ◆ 毎日記載する。
- ◆ 一般的に認められていない略語は用いないこと。
- ◆ 医学的に妥当適切な傷病名を記載する。
- ◆ 指導にあたる医師は、記録内容を監査し、慎重に加筆、訂正等を行う。

- ◆ **Don't** **入力してはいけないこと**

- 医療に不必要な患者のプライバシー
- 患者に対する個人的な感情
- 他の医療者についての無用のコメント

VI. 個人情報保護について

- ◆ 平成17年4月1日から「個人情報保護法」が全面施行されたことに伴い、本学医学部では、学生は臨床実習に入る前に個人情報保護についての「誓約書」を提出することとする。

VII. 学生の遵守事項

《患者（家族）さんとのコミュニケーション》

- ◆ 初対面時は指導医に紹介してもらい、自分でも自己紹介をすること。
- ◆ 丁寧な言葉遣いで話し、専門用語は使わないこと。
- ◆ プライバシーを遵守すること（守秘義務）。
- ◆ 思いやりの気持ちをもって接すること。
- ◆ 患者さんの言葉に耳を傾けること（傾聴）。
- ◆ 患者さんの身体面、および精神面に配慮すること。
- ◆ 医療面接や身体診察に時間を取りすぎないこと。時間がかかる場合は、了解を得て、数回にわけて行い、患者さんの負担に十分配慮すること。
- ◆ 毎日コミュニケーションをとり、訪室すること。
- ◆ 訪室時間を患者さんと相談して決めた場合は、その時間を厳守する。また、消灯時間を厳守する。

- ◆ 診断や治療方針を学生自ら伝えてはならない。例えば、患者さんから「癌でないでしょうか」と尋ねられたときは、「癌ではないかをご心配なのですね。しかし、私にはよくわからないので、〇〇さんが、ご自分が癌ではないかと心配されていることを指導医の先生に伝えます。」などと答えるようにすること。
- ◆ 患者さんや家族からクレームがあった場合は、速やかに指導医に連絡・報告する。

《チームスタッフ等とのコミュニケーション》

- ◆ 時間厳守。
- ◆ 欠席、遅刻、早退の場合は、速やかに指導医に連絡する。
- ◆ 実習中、無断で持ち場を離れたりしないこと。必要があつて持ち場を離れたり、帰宅する場合は、指導医に連絡し、許可をもらうこと。
- ◆ 医師、看護師、技師、その他医療従事者に対して挨拶をすること。
- ◆ 主治医や指導医とは毎日連絡・コミュニケーションをとること。
- ◆ 困ったことがあれば速やかに相談すること。

《院内外の実習の身だしなみと服装について》

- ◆ 本学生として適切な服装および身だしなみで実習に参加すること。
⇒ 個人の趣味や特性だけでなく、相手の判断も考慮する。
- ◆ 病院内外での実習において、幅広い年齢や性格の患者さんに対応すること。
⇒ 「好印象を持ってもらえる身だしなみ」
- ◆ 5つの原則
 1. 清潔
 2. 安全
 3. 機能的
 4. 落ち着きがある
 5. まわりとの調和
- ◆ 5つの原則に則った服装・身だしなみに関するルールを遵守すること。遵守すべきルールは次ページ以降に記載のため、確認すること。

◆ 服装・身だしなみに関するルール

項目	注意点
ヘアスタイル	<input type="checkbox"/> 顔や肩にかからないこと <input type="checkbox"/> 髪の色は地毛の色を基調とし、周囲から浮かない自然な色 <input type="checkbox"/> 長い髪は束ね、まとめてアップにする <input type="checkbox"/> お辞儀をしたときに落ちてくる髪は留める <input type="checkbox"/> 髪留めはシンプルなデザインのもの。色は黒、茶などの落ち着いた色を選ぶ <input type="checkbox"/> 奇抜なヘアスタイルはNG <input type="checkbox"/> サイドの髪は耳にかからない、バックの髪は襟に触れない長さ <input type="checkbox"/> もみあげは伸ばさない。ボサボサ禁止 <input type="checkbox"/> フケ、抜け毛がない <input type="checkbox"/> 整髪料でツンツン立たせたり、固めたりする奇抜なヘアスタイルはNG
顔まわり	<input type="checkbox"/> 自然な落ち着いた色のある色を選ぶ <input checked="" type="checkbox"/> アイライン、アイシャドウ、ファンデーション、チーク、口紅など <input type="checkbox"/> まゆ毛は、不自然に剃ったり、抜いたりしない <input type="checkbox"/> 耳の後ろ、首周りを清潔に保つ
服装	<input type="checkbox"/> 名札をつける <input type="checkbox"/> 汚れやシワがない <input type="checkbox"/> 襟を立てない <input type="checkbox"/> ボタンをすべて閉める
爪	<input type="checkbox"/> マニキュアやつけ爪は厳禁 <input type="checkbox"/> 伸ばさない（3mm以内）
時計 めがね アクセサリ	<input type="checkbox"/> 時計 <input checked="" type="checkbox"/> 華美（キラキラ、装飾付）にならない。時刻を合わせる <input type="checkbox"/> 眼鏡 <input checked="" type="checkbox"/> 磨いておく。曇り止めをつければベスト <input type="checkbox"/> イヤリング、ピアス、ブレスレット、指輪 <input checked="" type="checkbox"/> 原則、NG
足もと	<input type="checkbox"/> ストッキング、靴下 <input checked="" type="checkbox"/> 自然な落ち着いた色のある色 <input checked="" type="checkbox"/> 靴下の長さ：足の皮膚が見えない

項目	注意点
足もと	<input type="checkbox"/> 靴 ✓自然な落ち着いた色 ✓汚れがない ✓かかとを踏まない ✓歩いても足音がしない
香り におい	<input type="checkbox"/> 香りも匂いもしないことがベスト。 ✓患者さんの治療の妨げにならないように「無臭」がよい <input type="checkbox"/> オーデコロンのほか、ヘアケア製品の香料 ✓かなり気になる患者さんが少なくないので、無臭がベスト <input type="checkbox"/> 体臭・口臭が気になる場合 ✓意識してケアを心がけると同時に食事に注意 <input type="checkbox"/> オーラルケアも忘れずに。 ✓歯磨き、マウスウォッシュを心がける
持ち物	<input type="checkbox"/> 筆記用具：シンプルな物が好ましい <input type="checkbox"/> 携帯電話 ✓病院の指示に従い持ち込み可能な範囲を守る ✓マナーモードに設定

《その他》

- ◆ 医行為は必ず指導にあたる医師の指導・監視のもとで行うこと。
- ◆ 医行為により患者に障害が起こった場合は、直ちに指導医に連絡・報告する。
- ◆ 針刺し等の事故発生時は、直ちに指導医に連絡・報告する。

VIII. 評価・単位認定の要件

- ◆ 各診療科で実習した項目（各レベルの項目）はCC-EPOC およびポートフォリオに入力する。
- ◆ 最終日には、学生はCC-EPOCに自己評価、診療科評価、指導医評価をCC-EPOCに入力する。
- ◆ 最終日には、指導医はCC-EPOC上で学生にコメントを入力する。。
- ◆ CC-EPOCなどを用いて、臨床実習・PCC-OSCE 専門部会による個人評価が行われる。その結果は、卒業の単位認定の合否判定の参考として用いられる。

IX. 感染事故への対応

- ◆ クリニカルクラークシップにて病棟実習を行う際、さまざまな感染症に暴露されるリスクが想定されるため、日頃予防策を講じる必要がある。
- ◆ 病棟実習中は、手洗いをはじめ標準予防策を実践すること。
- ◆ 感染症患者を受け持った場合は、その感染症に応じた感染経路別予防策を講じる必要があり、この場合、指導医の指示に従うこと。
- ◆ 実習に入る前には、ツベルクリン反応検査（2段階法）や麻疹、風疹、ムンプス、水痘・帯状ヘルペスの抗体検査およびB型・C型肝炎の抗体検査を受けておくこと。抗体を保有していない場合は、臨床実習開始までに該当のワクチン接種をする必要がある。（記録は保健管理センターで保管、小児感染症や結核等に暴露された場合や、針刺事故の対応に必要）
- ◆ 排菌性の結核患者に接触した場合は、保健管理センターの指導を受けて対応すること。
- ◆ 針刺し事故が発生した場合は、直ちに血液を絞り出し、洗浄・消毒を行う。また、目に血液等が飛散した場合は、直ちに流水で目を洗う。その後すぐに指導医または主治医に連絡すること。指導医または主治医は、患者の感染性を調べ、保健管理センターの指導を受け速やかに対応する。実際の対応は、院内感染対策ガイドライン「針刺し等事故発生時対応マニュアル」に準じて行う（別紙フローチャート参照）。

X. 賠償責任保険加入の勧め

民事訴訟の結果当該事故について法律上の賠償責任が学生にあるとされた場合、学生が責任を問われる場合がある。しかし、学生が賠償責任保険に加入していれば、故意に起こした事故でないかぎり（例えば、病院内を通行中の患者さんに偶然衝突し傷害を負わせた場合）、「国内において、臨床実習中の学生が患者さんに対して行った行為によって、患者さんの身体、生命を害し、また財物を損壊したことにより負担する法律上の賠償責任の全額」が、保険会社より保障される（事故の保障については、事故の状況等を調査した保険会社が決定するため、加入していたからといってすべてに適応されるかどうかは事故の内容によると思われる。）また、このような場合でも、実習の場を管理している病院の経営者も賠償責任を問われる可能性は残る。

「診療参加型臨床実習の実施のためのガイドライン 医学・歯学教育の在り方に対する調査研究協力者会議」より抜粋・一部変更加筆

上記のことより、臨床実習開始前に、全員が賠償責任保険に加入することを勧める。

《学生が加入する保険について》

本学医学部では、「学研災付帯賠償責任保険（医学生教育研究賠償責任保険）」に全員加入している。これは、国内外において正課、学校行事およびその往復中で、他人にケガをさせたり他人の財物を損壊したことにより被る法律上の損害賠償を補償するものである。

その他に医学生を対象とした賠償責任保険があるので、賠償責任および感染予防費用（針刺事故、院内感染）の補償を含む保険に加入することが望ましい。

XI. 臨床技能開発ラボ備品一覧（外来棟 2 階に設置）

分類	品目	目的・概要	数量
頭頸部 神経	頸部リンパ節・甲状腺触診モデル	リンパ節等の触診	1
	鼻腔・咽頭拭い液採取シミュレータ	PCR 検査など鼻腔咽頭への挿入	4
	耳診察シミュレータ (EAR)	耳検査	4
	目診察シミュレータ (EYE)	耳検査	4
	眼底鏡 (直像鏡)	目検査	15
	耳鏡	医療機器	15
	ペンライト	医療機器	15
	打腱器	医療機器	30
	音叉	医療機器	15
	角度計	医療機器	15
	握力計	医療機器	4
	一般診察	血圧測定シミュレータ	評価機能つき血圧測定
水銀レス血圧計		医療機器	50
浮腫モデル		浮腫のアセスメント	4
SPO2 測定器		医療機器	15
心臓病患者シミュレータ (イチロー)		心臓病診察	1
心疾患シミュレータ (Harvey)		心疾患アセスメント	1
呼吸音聴診シミュレータ (ラング)		呼吸音聴診	4
小児呼吸音聴診シミュレータ (ラング)		呼吸音聴診	1
乳がん触診モデル		乳がん診察	2
腹部アセスメントモデル		腹部の触診	5
フィジカルアセスメントモデル (Physiko)		全身型シミュレータ	4
ナーシングアンシミュレータ		全身型シミュレータ	2
多職種連携ハイブリッドシミュレータ “SCENARIO		全身型シミュレータ	2
(幼児) Sim ジュニア		全身型シミュレータ	1
(乳児) SimBaby		全身型シミュレータ	1
(新生児) SimNewB	全身型シミュレータ	1	
バイタルサインベビー	乳児診察	4	

分類	品目	目的・概要	数量
処置	縫合手技トレーニングセット	縫合	40
	縫合手技評価シミュレータ	縫合(評価機能付き)	4
	吸引シミュレータ(Qちゃん)	吸引	2
	男性導尿シミュレータ	導尿	4
	女性導尿シミュレータ	導尿	4
	胸腔穿刺シミュレータ	胸腔穿刺	1
	心嚢穿刺シミュレータ	心嚢穿刺	1
	(成人)腰椎穿刺シミュレータ	腰椎穿刺	1
	(小児)腰椎穿刺シミュレータ	腰椎穿刺	1
	経管栄養シミュレータ	経管栄養	4
	膝関節注射モデル	関節注射	1
	点滴静注シミュレータ	静脈路留置	8
	動脈採血シミュレータ	動脈採血	2
	(成人)採血シミュレータ(シンジヨー)	採血	20
	(乳児・幼児)採血シミュレータ	採血	2
検査	超音波トレーニングシミュレータ (ウルトラシム)	超音波検査	1
	超音波トレーニングシミュレータ (ボディーワークス)	超音波検査	1
	心臓超音波シミュレータ (ハートワークス)	超音波検査	1
	膀胱内尿量測定ファントム	超音波検査	1
	腹部超音波ファントム	超音波検査	1
	腹部超音波ファントム(外傷モデル)	超音波検査	2
	肺超音波ファントム	超音波検査	1
	組織損傷超音波ファントム	超音波検査	1
	リウマチファントム	超音波検査	1
	下肢静脈ファントム	超音波検査	1
	12誘導心電計装置	医療機器	4
	超音波診断装置	医療機器	3

分類	品目	目的・概要	数量
蘇生	(成人)SimMan3G	高度機能付き蘇生シミュレータ	1
	(成人)SimMan エッセンシャル	高度機能付き蘇生シミュレータ	1
	(成人)レサシアン	心肺蘇生(全身)	30
	(成人)リトルアン	心肺蘇生(全身)	15
	(成人)レサシアン QCPR	心肺蘇生(評価機能付き)	5
	(幼児)レサシジュニア	心肺蘇生(全身)	3
	(幼児)レサシジュニア QCPR	心肺蘇生(全身)	4
	(乳児)レサシベビー	心肺蘇生(全身)	4
	(乳児)ベビーアン	心肺蘇生(全身)	7
	チョーキングチャーリー	窒息解除	5
	AEDトレーナー	AED 操作	20
	(成人)気道管理シミュレータ	気道管理	6
	(乳児)気道管理トレーナ	気道管理	6
	患者モニター	医療機器	6
	除細動器	医療機器	3

臨床技能開発システム演習室使用上の注意

臨床技能開発システム演習室の使用にあたっては、下記の事項に留意願います。

1. 演習室は、附属病院2階です。
2. 使用する場合は、クリニカルスキルアップセンターへメールで申し込んでください。
3. 使用を許可した場合は、使用日時および入退出方法をメールにて連絡します。
4. 使用機器の使用前、使用後の状態を確認してください。
5. 機器が破損したり、機器に異常が発生した場合は、すみやかにクリニカルスキルアップセンターに届け出てください。なお、不適切使用による破損または重大な過失による紛失の場合は、弁償をして頂くことがあります。
6. 機器の持ち出しは厳禁とします。
7. 使用後は、電源の切断、機器の収納等、機器を現状に復したことを必ず確認してください。
8. 使用後は、照明、空調の電源の確認を行ってください。
9. 退出時は、必ず施錠し、鍵を指定された鍵返却 BOX に入れてください。
10. 入室する時は、ゴム底靴を着用してください。革靴、ハイヒールは厳禁です。
11. 上記の注意事項を守らなかった者は、以後、使用の許可を認めません。

臨床実習 I

(令和 6. 1. 9～令和 6. 12. 13)

内分泌代謝内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30 (月曜日祝日の場合, 火曜日 8:30 にゼブラ棟 2 階に集合)
- (2) 集合場所 第 4 共同研究棟 101

2 実習概要 (実習内容)

(1) 病棟実習

入院患者を担当し、問診・診察・実行可能な検査を自ら実施する。得られた所見や検査結果を評価し、治療目標を達成するために必要な監査や治療の計画を立案し、カルテ上に毎日記載の上、上級生担当医の指導を受け、治療行為に必要な知識、技能を取得する。

血糖測定、インスリン注射、甲状腺エコーについてレクチャーを受け、学生医同士で練習し、基本的技術を取得する。

病棟回診前カンファレンスでは、医療従事者に必要な情報伝達能力を取得する。

多職種チームカンファレンスに参加し、多職種連携に医師として求められるスキルを取得する。

担当症例について、クリニカルクエスチョン作成行い、学会活動や生涯教育に必要な発表能力や情報収集能力を獲得する。

(2) シミュレーターを用いた実習

シミュレーターを用いて、医学教育モデルコアカリキュラムに示されている診断の基本項目について臨床推論技能を取得する。

(3) オンライン実習

血糖調整についてレクチャーを受け、インスリン使用時の基本的考えを理解する。

他大学共同プログラムでは、症例報告英語論文を読み、グループ内で協力しスライド作成とプレゼンテーション能力を獲得する。(無い週もあり)

動画閲覧により最新の糖尿病の考え方について学び、フィードバックを受け理解を深める。

3 G I O (一般目標)

内分泌代謝疾患の医療従事に必要な医療技能を習得する。

4 S B O (到達目標)

- (1) 医療面接、診察、検査を行うことができる。
- (2) 診察所見、検査結果を解釈し、問題点を列挙することができる。
- (3) 診断・治療に必要な検査計画を立案することができる。
- (4) 医療の遂行に必要な情報伝達ができる。
- (5) 文献等の医療情報の収集ができる。

5 スケジュール

曜日	午前	午後
月	オリエンテーション・担当 患者割り振り 外来病歴の取り方	糖尿病カンファレンス インスリン/SMBG 使用方法
火	入退院カンファ・回診 病棟患者血糖採血・インス リン手技確認	症例検討会 (抄読会)
水	朝ミーティング ※臨床推論	市中病院医師によるオンラインレクチャー
木	教授フィードバック	甲状腺エコー
金	教授フィードバック	クリニカルクエスチョン発表または 他大学共同 NEJM 抄読会

担当教員：金崎，山本，守田，野津，小川，石原，他

担当教員は実習内容の詳細については，グループ毎に初日に説明する。

※水または金曜日、()は無い週もあり

6 評価法

出席，実習態度，症例プレゼンテーション，クリニカルクエスチョン，レポートなどを総合して判断する。

7 その他注意事項

(1) 医療従事者 (Student doctor) である自覚を持つこと

血液内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 7:50 オリエンテーション、その後抄読会
- (2) 集合場所 みらい棟3階資料室

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行う。

指導医の指示に従って、組み込まれたチームの一員として、指示された入院患者の準主治医として臨床実習を行う。主治医・指導医の協力の下に、毎日受け持ち患者さんの問診や診察を行い、検査所見などを考察し、プロブレムリストを作成し、それに基づいて病状や病態について理解する。

毎朝、主治医により受けもち患者さんについて検査や治療方針について確認し、その後の回診に同行する。毎日担当患者を診察し、POS方式により診療録に記載をする。

担当患者以外の患者さんの診察も指導医・担当医の許可を得て積極的に行う。毎日、夕方にその日に学習したこと、疑問などを担当医（当番制）に報告し、ディスカッション、習熟度の確認を受ける。これらを通じて、日々の研修で理解した患者さんの病状や病態について、プレゼンテーションする能力を身につける。

採血、骨髄穿刺、骨髄生検、腰椎穿刺、中心静脈ルート確保、血液培養などの検査・手技が行われる場合には、見学し、適応や危険性などについても理解する。

身体診察手技などの小レクチャーを期間中に行う。

3 GIO（一般目標）

臨床実習を通して以下の必要な考え方・知識と技術を習得する

1. 血液疾患患者の診察およびその留意点
2. 血液疾患の診断と治療の考え方とその実際

4 SBO（到達目標）

- (1) 問診、身体所見、検査所見などから総合的な診断を行うことができる。
- (2) 病歴聴取を含めた基本的診察法を身につける。
- (3) 検査法の概要を理解し、適応や所見の解釈ができる。
- (4) 末梢・骨髄血液標本から得られる異常所見を理解する。
- (5) 標準的治療法を理解し、適応について判断することができる。

5 スケジュール

月曜日は7:50にみらい棟3階資料室に集合

火～金曜日は毎朝9時30分にC病棟8階に集合

スケジュール表はオリエンテーション時に配布されるので、確認する。

月：午前 抄読会・オリエンテーション

午後 病棟回診・入院患者カンファレンス（新患紹介）

火：午前/午後 病棟実習

水：午前/午後 病棟実習

木：午前/午後 病棟実習

金：午前 病棟実習

午後 総括・評価

（担当教員や実習内容については、担当グループ毎に初日に説明する）

6 評価法

診療記録，プレゼンテーション，口頭試問，レポート，出席状況，実習態度などを総合的に評価する。

7 その他の注意事項

服装，マナーに注意してください。

患者さんのプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ってください。

病棟のコピー機は業務用ですので、私用で使用しないでください。

病棟にある書籍は無断借用禁止です。借用の際は指導医に申し出てください。

病棟では免疫の低下した患者さんも多いため、感冒症状や発熱がある時には、その日の実習開始前に必ず指導医に報告してください。

臨床実習の目的は、座学では得られない診察技術とそれを通じた考え方を身につけることです。担当患者以外でも興味がある患者さんの診察は、積極的に申し出てください。症例を通じて、知識・技能を点から線、線から面に広げていってください。

腫瘍内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 13:00
- (2) 集合場所 火曜日 みらい棟2階カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行う。

指導医の指示に従って、指示された外来患者や模擬患者の担当医として臨床実習を行う。指導医の協力の下に、受け持ち患者さんの問診や診察を行い、検査所見などを考察し、プロブレムリストを作成し、それに基づいて病状や病態について理解する。

腫瘍内科について、又は、受け持ち患者の疾患に関するレクチャー（講義）を受ける。又、受け持ち患者さんの問診や診察などについて、指導医とディスカッションする。これらのことを通じて、日々の研修で理解した受け持ち患者さんの病状や病態、その疾患の標準的治療法について理解し、EBMをふまえた実地医療（Best Practice）を提案する能力を身につける。又、最終日に、研修内容をまとめたレポート作成し、プレゼンテーションをし、質問に答え、ディスカッションする。期間中、外来化学療法室の見学を行う。

可能な範囲で、がん外来化学療法室やがんセンターボードの見学を行う。

3 GIO（一般目標）

臨床実習を通して以下の必要な考え方・知識と技術を習得する

1. 固形がん患者の診察、診断
2. 治療法（主に化学療法）の選択
3. 化学療法の実施と副作用のマネジメント
4. 固形がんにおけるEBMの考え方と実地医療（Best Practice）
5. 「腫瘍内科」と「がんゲノム医療」に関する知識

4 SBO（到達目標）

- (1) 問診、身体所見、検査所見などから総合的な診断を行うことができる。
- (2) 病歴聴取を含めた基本的診察法を身につける。
- (3) 検査法の概要を理解し、適応や所見の解釈ができる。
- (4) 固形がん患者の基本的な画像所見を理解する。
- (5) 標準的治療法を理解し、実際のがん患者への適応について判断する。
- (6) 化学療法の実施と副作用のマネジメントを行うことができる。
- (7) がんゲノム医療の知識を深め、その適応について理解する。

5 スケジュール

火曜日	13時00分に、みらい棟2階カンファレンスルームに集合 ～16:00 オリエンテーション、課題症例1の提示、授業
水曜日	9時00分に、病院3階、腫瘍内科外来/外来化学療法室に集合 ～12:00 腫瘍内科外来見学、外来課題症例の提示 *カンサーボード開催の週は、18時00分に、ゼブラ棟2階 カンファレンスルーム「だんだん」に集合
木曜日	15時00分に、みらい棟2階カンファレンスルームに集合 ～16:00 課題症例1についてのディスカッション
金曜日	9時00分に、病院3階、腫瘍内科外来/外来化学療法室に集合 ～10:00 外来化学療法室、抗悪性腫瘍薬調剤室、及び、がん患者・ 家族サポートセンターの見学 13時00分に、みらい棟2階カンファレンスルームに集合 ～16:00 外来課題症例についてのディスカッション

6 評価法

出席状況、実習態度、ポートフォリオ、レポートなどを総合的に評価する。

7 その他の注意事項

服装、マナー、感染防御に注意してください。

患者さんのプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ってください。

感冒症状や発熱などがある時には、必ず指導医に報告してください。

問診、身体所見など、積極的に経験しましょう。

不明な点は、いつでも、主治医又は担当医に聞いてください。

消化器内科・肝臓内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8 : 30
- (2) 集合場所 B 病棟 7 階カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

クリニカルクラークシップによる研修を行い，数名の患者さんの診療に参加することを通じて内科系疾患の診断と治療を理解する。

3 GIO（一般目標）

内科系疾患の診療に必要な知識と技術を習得する。特に消化器疾患の診療に必要な基礎的知識を習得する。

4 SB0（到着目標）

- (1) 毎朝モーニングラウンドを行い，主治医にレポートできる。
- (2) メディカルインタビュー，基本的診察法を身につける。
- (3) 同時に数種類の疾患の診断，治計画を立てることが出来る。
- (4) 自分で診療録を記載することができる
- (5) 内科系疾患全般の鑑別診断を行うことが出来る。
- (6) 消化器疾患に用いる代表的な薬剤の作用，副作用を述べる事ができる。
- (7) 内視鏡検査，レントゲン，CT 等画像検査を読影することができる。
- (8) 超音波検査を行うことが出来る
- (9) 主な内科系疾患の病因，病態，症状，診断，治療，予後，再発予防について解説ができる。

5 スケジュール（対面）

	月	火	水	木	金
8 : 30 -9 : 00	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ	朝カンファ
9 : 30 - 12 : 00	外来実習 検査実習/ または病棟実 習	外来実習 検査実習/ または病棟実 習	外来実習 検査実習/ または病棟実 実	外来実習 検査実習/ または病棟実 習	外来実習 検査実習/ または病棟実 習
13 : 00 - 17 : 00	腹部診察実習 (1 回のみ) または 病棟実習	内視鏡実習 (1 回のみ) または 病棟実習	症例検討会 または 病棟実習	エコー実習 (1 回のみ) または 病棟実習	レクチャー または 病棟実習

- ・担当患者さんの検査・治療。処置に参加または参加する。
- ・希望があれば、内視鏡実習やエコー実習も予定する。
- ・希望があれば、国家試験に向けて質問時間を設ける。

6 スケジュール（オンライン）

	月	火	水	木	金
9:00	オリエンテーション				
10:00 - 12:00	症例検討	自習 または レクチャー	自習 または レクチャー	自習 または レクチャー	自習 または レクチャー
13:30 - 15:00	症例検討 または レクチャー	症例検討 または レクチャー	自習	症例検討	症例検討 または レクチャー
15:30 - 17:00	症例検討 または 自習	レクチャー または 自習	症例検討 または レクチャー	症例検討 または 自習	症例検討 または レクチャー

- ・模擬症例を一例あてて、症例検討の際にプレゼンテーションしてもらう
- ・希望があれば、国家試験に向けて質問時間を設ける。

7 評価法

朝カンファレンス。講義，回診，医局カンファレンス，グループカンファレンスへの出欠を確認します。診療グループの一員として診療に参加し，診療グループの教員から評価を受けます。

8 その他注意事項等

- (1) 患者さんの情報の守秘義務を，医師としてのマナーを守ってください。
- (2) 毎日出席を取ります。単位習得のためには，特別な理由のない欠席は許されません。
- (3) 研修医と同様に扱います。医師と同様の自覚をもって実習に参加してください。
- (4) 理由に関わらず欠席した場合は代替実習日を設けます。

脳神経内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:00 (金曜日は 9:00)
- (2) 集合場所 B 病棟 5 階カンファレンス

2 実習概要 (実習内容)

クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。学生は入院患者 (1~2 名程度) を担当し、医療チームのメンバーの 1 人として行動する。クラークシップは、文字どおりクラーク (秘書) として医療スタッフと協力することで、病院業務から患者管理まで幅広く医療の実際を経験できることを目標とする。採血、腰椎穿刺、心電図、脳波、筋電図、CT、MRI、リハビリテーションなどを実際に施行または見学する。担当教員及び主治医が 1 週間を通じて指導し、習熟度については金曜日に症例プレゼンテーション、レポートで評価し、学生にフィードバックする。

外来ポリクリでは、問診、診察などを通じて、鑑別診断、検査治療計画をつくる能力を身につける。

3 GIO (一般目標)

神経疾患について理解するために、それらの概念、病因、病態生理、疫学、臨床所見、検査所見、診断、治療法、予後について基本的知識を整理し、技術を習得する。

4 SBO (到達目標)

- (1) クリニカルクラークシップを通じて、診断から治療までをトータルに考え、問題解決する能力を身につける。
- (2) 症例に関連した文献検索法を習得し、文献の読む力を向上させる。
- (3) メディカルインタビュー、基本的診察法 (特に神経学的診察法) を身につける。
- (4) 難病患者の立場に立った医師の役割を理解する。
- (5) 患者とコミュニケーションをとる能力を身につける。
- (6) 看護師、薬剤師、検査技術師等とのチーム医療の必要性を学ぶ。

5 スケジュール（対面）

曜日	担当教員	午 前	午 後
月	長井 林 安部	a.m.8:00～8:30 カンファレンス 8:30～オリエンテーション 9:00～外来見学（有竹、岩佐） 13:00～脳卒中センターレクチャー（3 内カンファ室：林、安部） 病棟実習	病棟実習
火	有竹 金井	8:00～カンファレンス 病棟実習	病棟実習
水	岩佐 青木 朝山	8:30～SCU カンファレンス（C7） 10:00～レクチャー・回診（A5：長井） 病棟実習	病棟実習
木	上田	8:00～カンファレンス 病棟実習	病棟実習
金		9:00～カンファレンス（学生による症例発表含む）11:00～病棟回診，症例検討会	13:30～総括（青木、他） レポート作成、提出

6 オンライン

密集を避けるため、状況に応じて、オンラインによるレクチャーや達成度確認を行う。
回診についても状況に応じて学生参加の可否を検討する

オンラインの場合は Moodle 上にレクチャー動画の閲覧など行う。

総括を Web で行う場合は、カメラを On にして参加すること。

7 評価方法

基本的到達目標の達成度評価：口頭試問，レポート，出席状況，実習態度で評価する。
レポートは，担当した患者さんについての考察を，文献をふまえて作成すること。

8 その他の注意事項

- ・ 服装，マナーに注意。患者さんへの感謝・心配りとプライバシーの厳守。
- ・ 患者さんのベッドサイドには教科書など参考図書，カバンを持ち込まないこと。
- ・ 服装は襟付きのシャツに白衣，または，ケーシー型白衣とする。
（医療用であっても「サンダル」は禁止）
- ・ ネームプレートを着用。
- ・ 時間厳守。
- ・ 患者さんの情報が漏れることのないように注意する。
- ・ 前もって、臨床現場で血圧測定手技ができるよう準備しておくこと。

膠原病内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30
- (2) 集合場所 月, 火 AB 病棟 5 階カンファレンス室
水, 木, 金 AB 病棟 4 階カンファレンス室

2 実習概要 (実習内容)

クリニカルクラークシップによる指導を基本とする。すなわち、2-3 名の学生に担当患者さんを 1 名当て、患者さんを受け持つようにさせる。入院時の検査、治療計画、治療中のマネジメントなどを主治医と相談しながら行うことで実践的な臨床の力を身につける。また、初日に担当症例に関連したテーマを与える。そのテーマについて英語論文を読み最終日に各自まとめて発表を行うことで、一つの症例を多面的に理解できるようにする。

毎日カルテに患者の状態、問題点、評価、計画を記入し、病態の把握と問題解決能力を身につける。朝のカンファレンスで担当患者の病状のポイントを報告する。

外来ポリクリでは、問診、診察などを通じて、鑑別診断、検査治療計画をつくる能力を身につける。

担当患者のリハビリテーションなどを実際に施行または見学する。

3 GIO (一般目標)

膠原病および膠原病類縁疾患について理解するために、それらの概念、病因、病態生理、疫学、臨床所見、検査所見、診断、治療法、予後について基本的知識を整理し、技術を習得する。また、免疫抑制状態にある患者で注意すべきこと、合併症などを通じて内科学全般の学習をする。ステロイド薬、免疫抑制薬、生物学的製剤について学ぶ。

4 SBO (到達目標)

- (1) クリニカルクラークシップを通じて、診断から治療までを考え、問題解決する能力を身につける。
- (2) 症例に関連した文献検索法を習得し、英語文献の読解力を向上させる。
- (3) メディカルインタビュー、基本的診察法を身につける。
- (4) 難病患者さんの立場に立った医師の役割を述べる。
- (5) 患者とのコミュニケーションをとる能力を身につける。
- (6) 看護師、薬剤師、検査技師等とのチーム医療の必要性を学ぶ。

5 スケジュール

(対面実習)

曜日	8:30 集合 担当教員	12:30 13:30		
月	本田(吉岡)	オリエンテーション(担当患者の割当)、カンファレンス、病棟実習		外来実習(一瀬)
火	吉岡/宮島/本田/森山	カンファレンス、病棟実習		外来実習(本田)
水	吉岡/宮島/本田/森山	関節エコー実習(本田)、カンファレンス、回診		病棟実習
木	吉岡/宮島/本田/森山	カンファレンス、病棟実習		外来実習(森山) (6年生によるレクチャー)
金	吉岡/宮島/本田/森山	カンファレンス、病棟実習		外来実習(近藤)、15:00 総括(一瀬)

(オンライン実習)

オンライン実習の場合、実際の患者さんの代わりに提示された仮想症例について、小グループに分かれて検討してもらいます。

曜日	担当教員	開始時間はTeamsで連絡します
月	本田	仮想症例提示→学習しまとめる
火	森山	課題についてまとめたものを発表→新しい課題について学習しまと
水	吉岡	課題についてまとめたものを発表→新しい課題について学習しまと
木	宮島	課題についてまとめたものを発表→新しい課題について学習しまと
金	一瀬	課題についてまとめたものを発表→新しい課題について学習しまと

月～木曜日に教官が1時間程度のレクチャーを行います。

6 評価法

カルテ記載, 実習態度

総括でのレポート発表 (USBに入れて持参)

与えられた課題の発表検討会における発表や質問

7 その他注意事項等

服装, マナーに注意

プライバシーの厳守 ネームプレートの着用

聴診器持参

実習の予定は Microsoft Teams で連絡します

抄読会時は各自の PC/タブレットなどで見てください。実習期間は Microsoft Teams で連絡します。

循環器内科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30 (月曜日以降は指示に従って下さい)
- (2) 集合場所 臨床研究棟5階内科学第4医局カンファレンスルーム
オンラインの場合は集合なし

2 実習概要 (内容)

2-3名の学生で入院患者さんを1-2名受け持ち、主治医と共に担当患者さんの問診、診察、検査から得た情報を整理し、問題把握、鑑別診断、治療法の決定のプロセスを病棟実習から学ぶ。また外来診療、心臓カテーテル検査、心エコー図検査などに参加する。

オンラインの場合は、模擬症例を用いて学習を行う。

3 GIO (一般目標)

循環器内科診療に必要な知識を習得する。

4 SBO (到達目標)

- (1) 毎日担当患者さんの診察を行う。
- (2) 問診、基本的診療法を身につける。
- (3) 心電図が判読できるようになる。
- (4) 疾患についての病因、病態、検査、治療について検討できる。

5 スケジュール (対面)

曜日	集合時間	場所	午 前	午 後
月	8:30	カンファレンスルーム	抄読会, カンファレンス, 回診	心カテ, 心エコー
火	8:30	ICU	病棟実習, 外来	心カテ
水	8:30	ICU	病棟実習, 心カテ, 心エコー	病棟実習
木	8:30	ICU	病棟実習	心カテ
金	8:30	ICU	病棟実習, 心カテ	主治医との総括

スケジュール (オンライン)

曜日	集合時間	場所	午前	午後
月	8:30	各自オンライン可能場所	抄読会, ミニレクチャー	模擬症例
火	8:30	各自オンライン可能場所	ミニレクチャー	ミニレクチャー
水	8:30	各自オンライン可能場所	ミニレクチャー	模擬症例
木	8:30	各自オンライン可能場所	ミニレクチャー	ミニレクチャー
金	8:30	各自オンライン可能場所	ミニレクチャー	模擬症例, 総括

6 評価法

履修態度，プレゼンテーション，担当患者さんのレポートを参考にして評価する。

7 その他の注意事項

- (1) 時間厳守
- (2) 白衣，聴診器持参
- (3) 服装，マナーに注意
- (4) 個人情報取り扱いに注意

腎 臓 内 科

1 集合時間・集合場所

月 曜 日 9:00 血液浄化部集合
火/水/木/金曜日 8:30 A病棟4階集合

2 実習概要（内容）

クリニカルクラークシップ
ミニマムエッセンスレクチャー

3 GIO（一般目標）

- (1) 病棟あるいは外来診察で患者さんを診ることにより、実地医療（腎疾患診療）の基本を体験学習する。
- (2) 医療の現場で真に求められているものは何であるのかを考え、体得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) Problem Oriented System（POS）を理解し、POSにもとづく診察の進め方と診療録の記載方法を習得する。
- (2) カンファレンスや回診を通して、プレゼンテーションスキルを磨く。
- (3) コアカリキュラムに沿って、臨床に則して腎疾患を理解する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	午 前	午 後
月曜日	岡朋大	9:00 オリエンテーション 患者紹介	13:00 レクチャー（医局） 病棟実習
火曜日	神田武志 川畑ひとみ	8:30 病棟（回診） 11:30 外来実習（11診：神田）	病棟実習 14:00 透析室レクチャー （透析室）
水曜日	神田武志 小田川誠治 平井順子	8:30 病棟（回診） 10:00 レクチャー （ゼブラ棟）	病棟実習 15:00 レクチャー （栄養相談室）
木曜日	神田武志 岡朋大 花田真希	8:30 病棟（回診） 11:00 レクチャー （医局）	13:00 腎生検（病棟） 14:00 （腎生検終了後） カンファレンス （新患紹介）
金曜日	神田武志 花田真希 岡朋大	8:30 病棟（回診） 9:00 レクチャー、総括 （カンファレンス室） 11:30 外来実習（5診：花田）	14:00 外来実習（6診：岡）

レクチャー・総括の時間は、担当医師の都合によって変更になることがありますので、実習初日に予定表を配ります。

6 評価方法

- (1) 診療録記載内容
- (2) 課題のプレゼンテーション内容
- (3) 実習態度、総括でのプレゼンテーション内容

呼吸器・臨床腫瘍学（呼吸器・化学療法内科）

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 9:45（月曜祝日の場合、火曜9:30）
- (2) 集合場所 みらい棟3階 呼吸器・臨床腫瘍学 会議室（Pearl room）
※時間・場所を変更することがあるため、必ず事前に Moodle を確認すること
※その後は実習スケジュールに沿う

2 実習概要（実習内容）

臨床の現場で医療チームの一員として医師として必要な基本的知識を習得する。
呼吸器・化学療法科の症例を担当し、内科学全般にわたる基本的事項を学びつつ、
臨床医に必要なものは何であるかを考え、医師としての心構えを養う。

3 GIO（一般目標）

- (1) 呼吸器病学を中心に、臨床腫瘍学、感染症学、老年医学診療の基本を体験学習する。
- (2) 呼吸器病学を中心に、臨床腫瘍学、感染症学、老年医学の minimum requirement を習得する。
- (3) EBM が臨床現場でいかに実践されるのかを学ぶ。

4 SBO（到達目標）

- (1) 入院、外来患者を診ることにより、患者とのコミュニケーション、診察、指導医とのディスカッション能力を身につける。
- (2) コアカリキュラムに沿った呼吸器病学を中心に、臨床腫瘍学、感染症学、老年医学の minimum requirement が理解できる。
- (3) カンファレンス、スライドによる症例発表を通じてプレゼンテーションスキルを磨く。

5 スケジュール（一部、オンラインもしくはオンデマンドも併用することがある）

曜日	担当教員	午 前	午 後
月	スタッフ 医局員	9:45 オリエンテーション 10:30 チームカンファレンス 病棟実習	シミュレーション学習 レクチャー 病棟実習
火	スタッフ 医局員	8:30 モーニングカンファレンス 指導医と病棟回診 外来実習 レクチャー	病棟実習 気管支鏡検査
水	スタッフ 医局員	8:30 モーニングカンファレンス 指導医と病棟回診 病棟実習 レクチャー	12:30 レクチャー 病棟実習 気管支鏡検査（胸腔鏡検査）
木	スタッフ 医局員	8:30 モーニングカンファレンス 9:30 チームカンファレンス 指導医と病棟回診 病棟実習	病棟実習 在宅医療機器レクチャー
金	スタッフ 医局員	8:30 モーニングカンファレンス 指導医と病棟回診 病棟実習 総括	病棟実習

※外来実習、検査・処置などにも適宜参加すること。

6 評価法

- (1) 出席, 実習態度
 - (2) 診療録, ポートフォリオ等の記載内容
 - (3) 症例プレゼンテーション
- などを総合して判断する。

7 その他注意事項等

医療従事者（student doctor）としての自覚を持つこと。
実習中に不明な点があれば必ずその場で解決すること。

皮膚科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:40
- (2) 集合場所 第二研究棟 4 階皮膚科医局

〈オンライン実習〉

9:00 に Moodle 上に症例を掲示します。

2 実習概要（実習内容）

- (1) 外来実習：外来患者の問診と診療計画の立案、診療・検査・皮膚処置・小手術、エコーの補助あるいは見学をする。
- (2) 病棟実習：皮膚疾患の入院治療を学習する。
- (3) 手術実習：手術の補助を行う。

〈オンライン実習〉

実際の症例を通して、病態解明、治療方針の立案などを行う。

3 GIO（一般目標）

〈対面実習〉

皮膚疾患患者の診療を可能な限り体験し、皮膚疾患の病態解析、問題解決能力を養う。

〈オンライン実習〉

提示された症例を通して、皮膚疾患の病態解析、問題解決能力を養う。

4 SBO（到達目標）

〈対面実習〉

- (1) 皮膚疾患患者への問診を通じて、病歴を正確に聴取し、カルテに記載する技術を学ぶ。紹介医への返事の手書き方を学ぶ。
- (2) 皮疹を正確に観察して、そのバックグラウンドを知ると共に診断・治療計画を考える能力を養う。
- (3) 外来、病棟回診で担当患者のプレゼンテーションを経験する。
- (4) 簡単な皮膚科処置・手術を経験する。

〈オンライン実習〉

提示された症例を通して、そのバックグラウンドを知ると共に診断・治療計画を考える能力を養う。

5 スケジュール

〈対面実習〉

曜日	担当教員	9:00	12:30	13:30
月	山崎他	オリエンテーション, 外来実習		病棟実習
火	中川他	外来実習		病棟実習、手術実習
水	千貫他	外来実習		病棟実習他
木	山崎他	外来実習		カンファランス・病棟回診
金	新原他	外来実習・手術実習		手術実習, 総括

〈オンライン実習〉

曜日	担当教員	9:00	
月	福代・千貫他	オリエンテーション, 症例提示	
火	福代他	症例検討	
水	山崎・福代他	症例検討	
木	新原・福代他	症例検討	レポート提出
金	山崎・千貫他	模範解答掲示	総括

6 評価法

〈対面実習〉

CC-EPOC とポートフォリオにて、臨床実習の出席状況、問診・カルテ記載の到達度、診察見学・カンファランスでの積極性、情報収集等を総合的に評価する。

〈オンライン実習〉

各々の症例について出題した担当医が情報収集能力や問題解決能力などについて点数化して総合的に評価する。

7 その他の注意事項

〈対面実習〉

- (1) 服装に注意する。
- (2) 担当患者の状態に気を配り、礼意を失しないよう心がけること。
- (3) メモ用紙を持参のこと。
- (4) 受け身な態度ではなく、積極的な態度を歓迎する。

〈オンライン実習〉

可能な限り規則正しい生活を送って、実習に取り組んでください。

形 成 外 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 9:00
 (2) 集合場所 病院2階形成外科外来（体調管理表持参のこと）
 〈オンライン実習〉
 9:00にMoodle上に症例を掲示します。

2 実習概要（実習内容）

- (1) 外来実習：外来患者の問診と診療計画の立案、小手術の補助あるいは見学をする。
 (2) 病棟実習：入院患者の診察や処置を行う。
 (3) 手術実習：手術の見学あるいは補助を行う。
 (4) ミニレクチャー：形成外科疾患の種類や、国家試験対策の講義などを行う。
 〈オンライン実習〉
 実際の症例を通して、病態解明、治療方針の立案などを行う。

3 GIO（一般目標）

- 〈対面実習〉
 形成外科疾患患者の診療を可能な限り体験し、病態解析、治療方法の思考能力や問題解決能力を養う。
 〈オンライン実習〉
 提示された症例を通して、形成外科疾患の病態解析、問題解決能力を養う。

4 SBO（到達目標）

- 〈対面実習〉
 (1) 形成外科疾患患者への問診を通じて、病歴を正確に聴取し、カルテに記載する技術を学ぶ。
 (2) 顔面骨骨折、熱傷、切断指などの緊急疾患や、慢性創傷の診断法・治療法を知ると共に治療計画を考える能力を養う。
 (3) 縫合処置や、包帯の巻き方などを習得する。
 〈オンライン実習〉
 提示された症例を通して、その病態の診断・治療計画を考える能力を養う。

5 スケジュール

〈対面実習〉

曜日	担当教員	9:00	12:00	13:30
月	林田他	オリエンテーション、外来実習		創傷の処置方法、小講義、再建手術見学
火	林田他	外来実習		縫合実習、顔面CT読影
水	須田他	カンファランス		手術見学
木	須田他	外来実習		手術見学
金	林田他	手術見学		手術見学、総括

〈オンライン実習〉

曜日	担当教員	9:30	
月	須田	オリエンテーション, 症例提示	
火	須田	小講義	
水	須田	症例検討	
木	須田	症例検討	レポート提出
金	須田	模範解答掲示	総括

6 評価法

〈対面実習〉

臨床実習の出席状況, 問診・カルテ記載の到達度, 診察見学・カンファレンスでの積極性, 情報収集等を総合的に評価する。

〈オンライン実習〉

各々の症例について出題した担当医が情報収集能力や問題解決能力などについて点数化して総合的に評価する。

7 その他の注意事項

〈対面実習〉

- (1) 服装に注意する。
- (2) 担当患者の状態に気を配り, 礼意を失しないよう心がけること。
- (3) メモ用紙を持参のこと。
- (4) 受け身な態度ではなく, 積極的な態度を歓迎する。

〈オンライン実習〉

可能な限り規則正しい生活を送って, 実習に取り組んでください。

小 児 科

【目標】

1. 適切な臨床推論のプロセスを理解する。
2. 小児科における特性を理解し、実践することができる。
3. 学内外の小児科診療現場を実習し、大学病院、市中病院、診療所における違いを理解する。
4. 小児患者・家族に対する接し方を学び、良好な人間関係を確立できる。
5. 小児科医として、果たすべき役割を理解する。

【実習の目的と概要】

小児科学は、年齢とは関係なく内科領域とも共通する医学の科学性とその臨床応用を行うとともに、小児期に特有の疾患と成長・発達途上にある患者の身体的・精神的・社会的要因から生ずる特異病態およびその治療の特殊性がある。患者のみでなく保護との関係も診断・治療上重要であり、小児科は社会医学・予防医学的な側面も含めて幅広い視野が求められる。小児科における臨床実習を通じ、これらの理解を深めると同時に診療実技・医学研究等の基本的臨床能力を築くことを目標とする。

実習では①積極的に患者に関わること、②医療従事者の一員として、包括的に患者の医療に関わることの2点を特に意識して臨んでほしい。この実習の中では、乳幼児健診、予防接種、地域の特性、疾患に伴う心理的な影響、地域のヘルスケアシステムの理解、包括的な視点から患者および家族を理解すること、他職種との連携などの実習も含まれる。また本実習では、患者とのファーストコンタクトを医学生が実施する貴重な経験であり、一般的な小児診察手技に加えて小児科に特徴的な手技や小児の正常値を理解しながら、検査結果の解釈に関するトレーニングも含まれる。

【一般目標 GI0】

小児科における臨床実習を通じ、小児期に特有の疾患と成長・発達途上にある患者の身体的・精神的・社会的要因から生ずる特異病態およびその治療の特殊性を理解し、小児科学の理念を学ぶ。学生は、主体的に実習に参加し、医療者の一員として現場でふるまうことを通じて、小児医学の基本的な理念を学ぶ。

【個別目標 SB0】

実習内容は、真に小児科医として活躍しており指導能力を有する指導医がいる施設で実施する。医療施設の規模は場所によって異なり、個別の目標は学習者が学び習得したいレベルを踏まえて各施設の指導医と学習者として毎回相談して決定する方針とする。

1. 学内外の小児科診療現場において、患者・家族に対する接し方を学び、良好な人間関係を確立できる。

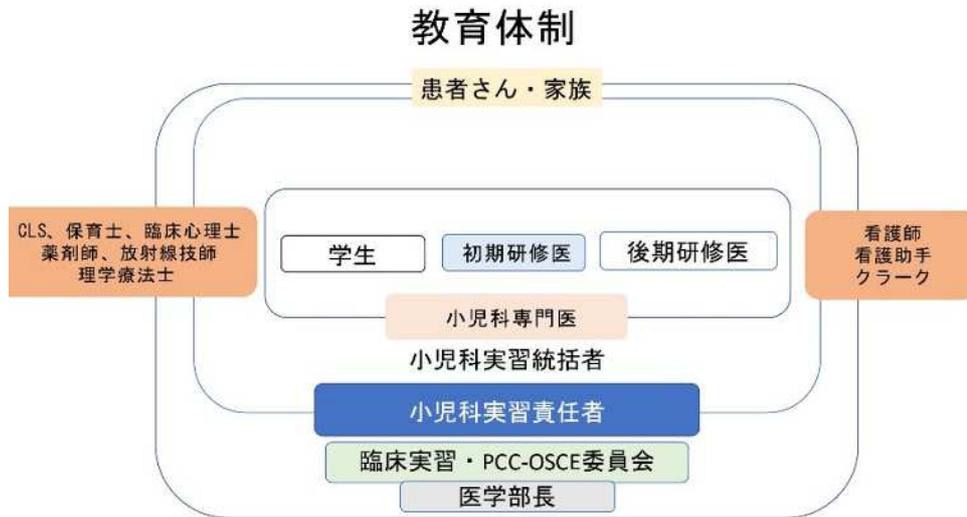
2. 問題解決に必要な情報を適切に収集できる。
 - * 患者および保護者から必要な身体的・精神的・社会的情報を得ることができる。
 - * 患者および保護者の立場を考慮しつつ、視診、聴診、触診等により必要な情報を得ることができる。
3. 取得した情報に基づいてアセスメントを行い、SOAP形式に沿ってカルテ記載ができる。
4. 問題解決のための診断・治療計画を立案できる。
 - * クリニカルクエストのレクチャーで学習し、立案の補助とする。
5. 小児科における特性を理解し、実践することができる。
 - * 年齢による特殊性を理解する。
 - * 検査結果の年齢による違いを解釈できる。
 - * 小児における診療技術の特殊性を理解する。
 - * 乳幼児健康診査や予防接種の参加を通じ、正常小児の成長発達およびこどもの健康支援と予防医療の重要性を理解する。
 - * 小児科クリニックを見学し、地域に密着した小児外来診療の状況を理解する。
 - * 小児科の細分化した各専門分野の診断，検査，治療に積極的に参加し、理解する。
6. 適切なプレゼンテーションができる。
 - * 症例を適切にようやくし、場面に応じて提示できる。
 - * 問題提示に対して、他者と適切な討論ができる。
 - * 文献検索等を通じ、問題解決のための資料が作成できる。
 - * 最新の海外文献を読み、適切なプレゼンテーションができる。
7. 臨床推論で重要な病歴聴取、身体診察、鑑別診断の想起、検査の実施までの流れを理解し方針を立てることができる
8. 基本的な身体診察（バイタルサイン含む）を実施し、適切な解釈をすることができる

【 評価方法 】

総括的評価：各担当教員が毎日の実習を評価するとともに、レポート、口頭諮問等により実習指導医ならびに大学指導責任者により評価される。原則、1週間事に実習施設の指導医から評価を受けフィードバックされる。また、4週間の実習の最後の総括として各施設で実習した学生が集い大学指導責任者等に対して発表を行う。

実習提供者側への評価：最終日に実習を通じた学びと実習の改善案等の学生からのフィードバックを行う。

【教育体制】



【手技】

レベル1：指導医の指導・監視下で実施が開始されるべき医行為

<診療の基本>

臨床推論、診断・治療計画立案、診療録作成、症例プレゼンテーション、退院サマリーなど

<一般手技>

ネブライザー、胃管挿入、皮下注射（GnRHアナログ剤、予防接種）、経口予防接種、静脈採血、新生児採血、静脈注射（抗がん剤を除く）、薬物の溶解、浣腸、NCPR（新生児の蘇生）

<検査手技>

迅速検査（感染症）、血液ガス、簡易血糖、心電図検査、経皮酸素飽和モニタリング、超音波検査（腹部・胸部・頭部）、発達テスト、NICU検査室内の簡易検査（血液ガス、生化学的検査）

<診察手技>

診察および診察の補助、耳鏡を用いた鼓膜の観察、乳幼児健診

レベル2 指導医の実施の介助、見学にとどめることが推奨される医行為

<一般手技>

動脈穿刺、ライン確保、髄液穿刺、骨髄穿刺、尿道カテーテル挿入、輸血、各種診断書、検案書、証明書作成、静脈麻酔、局所麻酔、鎮静

<検査手技>

脳波検査（判読）、超音波検査（判読）、X線検査、CT/MRI、核医学判読

<診察手技>

思春期および学童期の外陰部の診察

【実習の流れ】

4週間のうち1-2週間が島根大学医学部附属病院の研修で、それ以外が他小児科施設になります。

1 週	2 週	3 週	4 週
大学病棟		出雲市内開業医	
大学病棟		大田市立病院	
大学外来		雲南市立病院	
東部島根・松江開業 医	大学外来	島根県立中央病院	
大学外来	東部島根・松江開業医	松江赤十字病院	
島根県立中央病院		大学外来	
松江赤十字病院		大学外来	東部島根・松江市内開業 医
大田市立病院		大学病棟	
雲南市立病院		大学病棟	
出雲市内開業医		大学病棟	
出雲市内開業医		東部島根・松江市内開業医	大学外来
大学病棟		出雲市内開業医	

大学病棟および外来の実習スケジュール

大学病棟	月	火	水	木	金
AM	オリエンテ ーション、 担当患者紹 介、診察	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察	担当患者診察
PM	担当患者診 察	勉強会、回 診、プレゼン テーション	担当患者診察	国家試験対策	担当患者診察・ 振り返り
大学外来					
AM	外来実習	外来実習	外来実習	抄読会発表、 外来実習	外来実習
PM	臨床推論	勉強会、遺伝 医学実習	臨床推論	外来実習	外来実習振り返 り

オンラインの場合のスケジュール

	月	火	水	木	金
8:30	健康確認 朝カンファレンス	健康確認 朝カンファレンス	健康確認 朝カンファレンス	健康確認 朝カンファレンス 抄読会	健康確認 朝カンファレンス
9:00					
10:00	レクチャー	レクチャー	レクチャー	レクチャー	
11:00					週間サマリー
12:00					
13:00	スモールレクチャ ー	カンファレンス回 診	スモールレクチャ ー	スモールレクチャ ー	
14:00					
15:00		スモールレクチャー			
16:00					

乳幼児健診の実習

他小児科施設実習：島根県立中央病院、松江赤十字病院、大田市立病院、雲南市立病院、出雲市民リハビリテーション病院、わたなべレディースクリニック、どれみクリニック基常小児科、みもりキッズ・ファミリークリニック、芦沢医院、東部島根医療福祉センター、つわぶきクリニック、ぽよぽよクリニック、うえだファミリークリニック

【その他の注意事項等】

- ◆実習先の選定は学生同志の話し合いで、医療者として自主的建設的に相談して決定すること。
- ◆自習先での態度を深慮すること。医療の現場では白衣を着ているものは患者にとって一人の医師として扱われることに留意する。
- ◆実習日から過去2週間分の自己健康管理票を携帯し、確認された場合提示すること。
- ◆体調不良等で欠席・遅刻する場合は必ず実習先と小児科学講座に連絡すること。
- ◆実習施設の規則等に従い、業務に支障をきたさないよう心がける。
- ◆実習の指導医の指示に常に従う。実習中トラブルや不慮の事故があった場合、必ず実習先の指導医及び小児科学講座に連絡すること。
- ◆実習における学生の基本的医行為については、各実習施設が決定し実施する。なお医行為は必ず指導に当たる医師の指導・監視のもとに行うこと。
- ◆駐車場は、患者優先とする。一番遠いところに駐車すること。

【初日集合時間・場所】

午前8時45分にC5病棟カンファレンスルーム

消化器・総合外科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:15
- (2) 集合場所 臨床研究棟1階 消化器・総合外科カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

外来・入院患者の診療（予診，診察，回診，手術，検査など），カンファレンス，手術手技トレーニング等に主治医と共にチームの一員として参加する。

3 GIO（一般目標）

外科疾患を正しく診断し適切な治療方針をたてるために，患者の予診，診察を行い，また検査や手術内容，基本的な外科手技を理解する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 予診を的確にとることができる。
- (2) 診察を的確に行うことができる。
- (3) 外科的疾患について適切な検査法，治療法を理解する。
- (4) 清潔・不潔の概念を理解し，手術手洗いができる。
- (5) 局所解剖と手術手順を理解することができる。
- (6) 鏡視下手術を含む外科手術の基本手技を身につける。
- (7) 周術期管理について理解し，実践する。

5 スケジュール

5年生1週間実習スケジュール

曜日	担当教員	8:15	9:30	12:30	13:30	14:00	17:00
月	日高平原板倉林山本松原高井百留谷浦石飛	術前術後カンファ	病棟実習手術見学・参加		症例検討	臨床講義	
火		各グループ	病棟実習手術見学・参加			14:00 教授回診カンファレンス(症例検討)	
水		術前術後カンファ	病棟実習手術見学・参加		外科手技実習(消化器・総合外科カンファレンスルーム)		
木		MMカンファ	病棟実習手術見学・参加		症例検討	臨床講義	
金		術前術後カンファ	病棟実習手術見学・参加		症例検討	臨床講義	

6 評価法

出席状況，実習態度，観察記録，自己評価表，ポートフォリオなどを総合的に評価する。

7 その他の注意事項等

*時間厳守 *白衣着用 *聴診器持参 *服装, 態度に注意

*病気等で休む場合は連絡すること。

*学生には, あらかじめ実習内容と症例の割当表を配布するので各グループの代表者は, 前週の金曜日に消化器・総合外科医局に取りに来ること。

循環器外科学（心臓血管外科）

- ・原則としてローテーター・スタッフにつき，診療の見学を行う。
- ・緊急手術の救急対応を見学したい場合は希望があれば可能である。
- ・状況に応じて指導医のもとで末梢静脈ルートキープ，静脈・動脈採血を行う。

1 集合時間・集合場所

月曜（祝日の場合は翌火曜）9時・臨床研究棟1階 循環器外科学カンファレンス室
（それ以降、翌日の集合時間・場所は、前日の実習終了時にお伝えします）

2 実習概要（実習内容）

- (1) 1週間を通して循環器外科（心臓血管外科）の診療に参加しチーム医療を理解する。手術では術前からの検査所見や診断を理解し，実際に手洗いをを行い手術に参加し，外科の手術を経験する。手術後の病態，管理を理解する。
- (2) 病棟では担当患者の診療に参加し，指導教員の下に実践的基本外科手技の実地訓練を行う。
- (3) 外来においては実際の外科診療に参加し，入院前後における知識の理解を深めるとともに，地域病院との連携を理解する。
- (4) 適宜、ミニレクチャーで心臓・外科手術の内容を理解する。

3 GIO（一般目標）

外科学の一般的技術を理解し，臨床医として診断治療を行うのに必要な基本的態度を習得する。

心臓血管外科臨床実習において，特に以下の4項目を学び習得する。

- (1) 術前評価における総合的なリスク評価
- (2) 手術に積極的に参加する能力
- (3) 術後急性期の変化する病態の総合的把握
- (4) 基本的外科手技

4 SBO（到達目標）

- (1) 外科的手洗いができる
- (2) スタンダードプリコーションを実践できる
- (3) 正しい糸結びを実践に使えるレベルまで練習し体得する
- (4) 術前リスク評価を，実際の診察も踏まえてトータルの評価ができる
- (5) 受け持ち患者さんの手術では事前に手術の流れを把握しておき，助手として積極的に参加して手術の遂行に貢献できる

5 スケジュール

	9:00	15:00	16:30	17:00
月	手術/病棟見学/ミニレクチャー			(病棟回診)
火	手術 (成人心臓血管外科)			病棟回診
水	外来/手術 (小児心臓血管外科) /病棟見学 ミニレクチャー			
木	手術 (成人心臓血管外科)			手術ビデオカンファ (不定期)
金	外来/手術			病棟回診

※糸結び、外科手技のレクチャーは随時行います。

6 評価法

臨床実習現場における口頭試問, レポート, 出席状況

7 その他の注意事項

- (1) 病院実習における患者への態度, 言葉遣い, 服装に十分注意する。特に清潔 (手, 爪, 髪の毛) には気をつける。
- (2) 白衣, 聴診器持参。
- (3) 時間厳守。

呼吸器外科

呼吸器は生命予後にかかわる重要なバイタル臓器です。診療に参加しながらその重要性を認識し、自らの臨床キャリアに役立ててください。

1 集合時間・集合場所（初日）

月曜日 8 時 30 分・呼吸器外科オフィスラウンジ（病院 2 階ラパン横）

火曜日（月曜祝日の場合）8 時・呼吸器外科オフィスラウンジ

2 実習概要（実習内容）

(1) 全体のチームとしての業務時間は 8 時半-17 時だがそれ以外は自主学習を行う。

(2) 自主学習時間に手術や予診、プレゼンテーションの予習、準備を行う。

(3) 診療参加型臨床実習のため大部分の時間の使い方は自己裁量とする。

(4) 手術室での立ち居振る舞いに留意する。

3 GIO（一般目標）

呼吸器外科学の診療を通じて生命にかかわる分野特異的な安全な医療に必要な技術、態度、知識を理解し、チームの一員として医療サービスの提供と向上に貢献する。

4 SBO（到達目標）

(1) 呼吸器外科患者に対して適切に情報を収集し、病態を把握することができる。

(2) 患者、患者家族、医療スタッフと良好な関係を構築できる。

(3) 呼吸器外科手術中、手術後の通常の経過について理解することができる。

(4) 疾患、術式に特異的な有害事象を理解し、発生の有無を認識できる。

(5) 周術期の有害事象の発生予防を理解し、自ら貢献することができる。

(6) チューブ類の目的と必要性について評価でき、挿入・抜去に参加できる。

(7) 回診、カンファレンスで術前後のプレゼンテーションができる。

5 スケジュール

	8:30	9:00	14:00	15:00	17:00
月		オリエンテーション、外来・病棟業務 シミュレーショントレーニング			自習・手術予習
火	自習・病棟業務 (術側マーキング)	手術・病棟業務			自習 (外来患者確認)
水	自習・病棟業務	回診	外来予診	カンファレンス	自習・手術予習
木	自習・病棟業務 (術側マーキング)	手術・病棟業務			自習
金	病棟業務	外来・手術・病棟業務			総括

・オンライン時では病棟業務はなく、Teams による外来リモート診察・手術見学を行い、適宜、課題と発表を行います。初日は 8 時半より Teams でオリエンテーションをします。

6 評価法

臨床実習現場またはオンライン授業におけるパフォーマンス評価

7 その他の注意事項

- (1) 無断欠席・遅刻により患者診療へ悪影響が生じた場合、再履修とします。
- (2) 手洗いは必ずウォーターレス法で行ってください。
- (3) 個人情報の取り扱いには十分注意してください
- (4) 呼吸器外科オフィスラウンジは自由に使ってください（飲食、スマホ充電可）。
- (5) オンライン時は Teams で音声・画像（常にオン）にてリモートで参加します。服装、背景に留意するようにしてください。リモート外来では白衣を着用してください。

整形外科

1 集合時間・集合場所

第1週

- 月 8:00 整形外科カンファレンスルーム
- 火 9:00 手術室
- 水 9:30, 13:30 大学リハビリテーション室
- 木 8:00 整形外科カンファレンスルーム
- 金 13:30 大学リハビリテーション室

第2週

- 月 8:00 整形外科カンファレンスルーム → 9:30 大学リハビリテーション室
- 火 9:00 手術室
- 水 9:30, 13:30 大学リハビリテーション室
- 木 8:00 整形外科カンファレンスルーム
- 金 9:00 整形外科カンファレンスルーム, 13:30 大学リハビリテーション室

2 実習概要（実習内容）

スケジュール表参照

3 GIO（一般目標）

- (1) 整形外科の基本的な臨床的知識及び技能を身につける。
- (2) 医師としての基本的な好ましい態度や習慣を身につける。

4 SBO（到達目標）

- (1) 外来新来患者の診療に参加し、望ましい面接法、問診法を学ぶ。
- (2) 病歴の聴取を行い、心理的、社会的な問題点についても評価する。
- (3) 外来診療及び入院診療に参加し、基本的な整形外科的診察及び徒手検査を行う。
- (4) 問診と診察所見から情報を整理し、問題点や今後の診断法（検査法）を具体的に述べる。
- (5) 身だしなみ、言動などに注意し、患者さんとの信頼関係を築くための基本を学ぶ。
- (6) 医療行為（特に手術室において）を行う際の清潔・不潔の概念を明確にする。

5 スケジュール

第1週

曜日	担当教員	AM	PM
月	整形スタッフ	整形オリエンテーション 整形外来見学	整形総回診 カンファレンス
火	整形スタッフ	手術見学	手術見学
水	リハスタッフ	リハビリテーション	リハビリテーション
木	整形スタッフ	整形抄読会, 手術見学	手術見学
金	リハスタッフ		リハビリテーション

第2週

曜日	担当教員	AM	PM
月	整形スタッフ リハスタッフ	リハビリ	整形総回診 カンファレンス
火	整形スタッフ	手術見学	手術見学
水	リハスタッフ	リハビリテーション	リハビリテーション
木	整形スタッフ	整形抄読会, 手術見学	手術見学
金	整形スタッフ リハスタッフ	整形レポート発表と まとめ	リハビリテーション

*整形外科スタッフ（内尾，山本，山上，今出，門脇，多久和，田中，真子）

*リハビリテーション科スタッフ（馬庭，酒井，蓼沼）

6 評価法

臨床実習への出席や態度，臨床実習での設問及びレポートによって行う。

リハビリテーション科

1 集合時間・集合場所（月・水・金曜日）

- (1) 集合時間 午前9:30、午後13:30
- (2) 集合場所 外来3階リハビリテーション室
(変更の場合には毎回連絡します)

2 実習概要

- (1) 「障害」の診断，治療計画について学ぶ。
- (2) 国際生活機能分類（ICF）について学ぶ
- (3) 急性期，回復期，生活期のリハビリテーションについて学ぶ。
- (4) 理学療法，作業療法，言語聴覚療法の概要について学ぶ。
- (5) リハビリテーション医学におけるチーム医療，チームアプローチを学ぶ。

3 GIO（一般目標）

障害の診断，ICFについて学習し，急性期・回復期・生活期リハビリテーションの流れを理解する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 「障害」の評価ができる。
- (2) ICFについて理解する。
- (3) リハビリテーション関連職種の業務を理解する。
- (4) チームアプローチについて理解する。
- (5) 急性期，回復期，生活期リハビリテーションの連携について理解する。

5 スケジュール（火・木曜日は主として整形外科の手術見学）

月 午前：オリエンテーション

リハビリテーション治療、検査の見学、身体計測の実習など

水 午前：講義「リハビリテーション医学・総論」

午後：講義「義肢・装具」「痙縮の治療」

リハビリテーション治療・検査の見学

ハンズオン（車椅子、歩行補助具）

金 午後：講義「リハビリテーション医学・各論」

リハビリテーション治療・検査の見学、高次脳機能評価の実習

6 評価法

出席状況，実習態度

7 その他注意事項等

- (1) 服装・態度に注意する。
- (2) 新型コロナウイルス感染症の影響を受けた場合にはオンライン実習を行います。

脳神経外科

1 集合時間・場所

時間 (月) 午前 8:50
 (火) (木) (金) 午前 8:30
 場所 外来中央診療棟 1 階 脳神経外科外来 ポリクリ準備室
 (* 水曜日は時間・場所ともに別途指示)

2 実習概要 (内容)

- (1) 脳神経外科学の実習。
- (2) 神経所見。読影実習。
- (3) 検査見学。検査参加。
- (4) 手術見学。
- (5) 担当症例。症例発表とレポート提出。

3 GIO (一般目標)

将来いずれの専門分野に進んでも役立つ、脳神経外科領域における基本的な知識と技能そして医療人としての望ましい態度習慣を修得する。

4 SBO (到達目標)

- (1) 脳神経外科学の診療において必要な検査を計画する。
- (2) 患者情報を適切に要約し、文献検索などを積極的に活用し提供する。
- (3) 診断・治療に関連する処置や操作について基本的手技を行う。
- (4) 臨床技能の向上のためラボにおける実習を行う。(マイクロサージャリー, 他)

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00.....12:30	13:30.....
月	林 永井 萩原 神原 吉金	オリエンテーション, 手術見学および補助実習	手術見学, 回診, 臨床技能ラボ (15:30~)
火		検査見学および補助実習	脳血管撮影と血管内手術見学
水		手術見学および補助実習	手術見学および補助実習
木		症例討論	回診, 総合カンファレンス
金		抄読会, 学習・教育効果の評価	学習・教育効果, 臨床技能ラボ

6 評価法

出席および症例レポートで評価します。

CC-EPOC 評価システムを導入しています。

7 その他注意事項等

- (1) 患者さんに接するにふさわしい服装・言動。
- (2) 患者さんの個人情報の守秘義務（個人情報保護法に従う）。
- (3) 患者さんのデータ等をコピーしないこと（紙媒体も含む）。
- (4) 白衣，筆記用具持参。
- (5) ハイブリッド型の臨床実習はオンラインで行い，該当者は個別に指示します。詳細については Moodle 上に記載します。

泌尿器科

1 集合時間・集合場所

月	8:30	臨床研究棟 2 階泌尿器科医局
火	9:00	泌尿器科外来
水	9:00	C 病棟 3 階手術室または泌尿器科外来
木	9:00	泌尿器科外来
金	9:00	C 病棟 3 階手術室または泌尿器科外来

2 実習概要（実習内容）

スケジュール表参照

3 GIO（一般目標）

泌尿器科の基本的診療に関する知識を身につける。

4 SBO（到達目標）

- (1) 問診，理学的検査を行う。
- (2) 尿検査を行い，結果を解釈する。
- (3) 典型例の画像を読影する。
- (4) ロボットなどの手術に参加する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30 9:00	12:30	13:20～16:50
月	和田 小川 永見 中島 小池 小林	オリエンテーション，手術		手術
火		外来実習		外来実習
水		手術		手術
木		外来実習		外来実習
金		手術		病棟実習・総括

※月曜日 8:30 に医局で週間予定表を渡すので、各自確認すること。

※月曜日が祝日の場合は、翌日週間予定表を渡します。

6 評価法

レポート，実習態度

7 その他注意事項等

時間厳守

精神科神経科

【目標】

- 1、精神科の臨床現場で能動的に学習し、良医を目指す十分な動機付けを行う。
- 2、医師として全人的に患者を把握、理解する習慣を身に付ける。
- 3、患者の症状・症候学・検査所見（脳波、画像診断、心理検査等）に基づいて精神疾患の病態を理解し、知識の整理を行う。
- 4、精神疾患の治療（薬物療法、精神療法など）について学ぶ。
- 5、精神保健福祉について学び、多職種連携の重要性について理解する。

【実習の目的と概要】

本コースでは、精神科神経科外来実習および病棟実習などを通して、基本的な知識と診療技術を習得することを目的とする。

【一般目標 GIO】

島根県内の大学および精神科関連病院等において、精神科診療を実践する医療者のもとで現場での経験を通じて、精神医学の知識・治療などを学ぶ。

【個別目標 SB0】

- 1、精神神経疾患の症状について述べることができる。
- 2、診断に必要な知識と技術について理解し、薬物療法や精神療法について学ぶことができる。
- 4、総合病院、単科精神病院、クリニックなどにおける精神科医療の役割を理解することができる。
- 5、精神科医療の中で求められる地域連携、デイケア、作業所、リハビリについて学ぶことができる。
- 6、外来や病棟で患者を診察し、症状・診断・治療について理解し、診療録に記載できる。
- 7、カンファレンスに参加し、適切なプレゼンテーションを行うことができる。
- 8、教科書や論文などの医療資源を用いて精神医学の知識を学び、疾患についての原因・病態・治療・予後について検討できる。
- 9、精神保健福祉法に関する知識を習得し、多職種連携の重要性を理解することができる。
- 10、患者を疾患を抱えた一個人として理解できるよう努め、生物学的・心理学的・社会的側面から病態について考察することができる。

【評価方法】

総括的評価：出席状況、ポートフォリオ、口頭試問等により実習指導医並びに大学指導責任者により評価される。また4週間の実習の最後に各施設で実習した学生が集い総括を行う。評価に関わるねらい、学修目標は以下のとおり。

ねらい：

- 1、将来、精神科医にならない場合にも必要な精神科領域の診療能力について学ぶ。
- 2、精神科医のイメージを獲得する。

学修目標（一部方略を含む）：

- 1、主訴からの診断推論を組み立てる、又はたどる。
- 2、疾患の病態や疫学を理解する。
- 3、精神科的治療に可能な範囲で参加する。
- 4、基本的な精神科面接技法について学ぶ。
- 5、どのように精神科にコンサルテーションすればよいかわかる。

【方略：実習の流れと実習内容について】

○初日集合時間・場所

9：00 に精神医学医局 3（臨床研究棟 5F）に集合

		前半関連病院／後半大学病院		前半大学病院／後半関連病院	
		午前	午後	午前	午後
1W	月	オリエンテーション①	移動	オリエンテーション	教授回診
	火	関連病院実習		PBL	リエゾン回診
	水			外来実習	病棟実習
	木			外来実習	病棟実習、PBL
	金			外来実習	病棟実習、レクチャー
2W	月	関連病院実習		病棟実習	教授回診
	火			PBL	リエゾン回診
	水			外来実習	病棟実習、PBL
	木			外来実習、	病棟実習
	金	自習	レクチャー	外来実習	病棟実習、レクチャー
3W	月	オリエンテーション②	教授回診	関連病院実習	
	火	PBL	リエゾン回診		
	水	外来実習	病棟実習		
	木	外来実習	病棟実習、PBL		
	金	外来実習	病棟実習、レクチャー		
4W	月	病棟実習	教授回診	関連病院実習	
	火	PBL	リエゾン回診		
	水	外来実習	病棟実習、PBL		
	木	外来実習	病棟実習		
	金	総括			

* 関連病院は、松ヶ丘病院、西川病院、こころの医療センター、石東病院、安来第一病院の 5 施設で、各施設 1～2 名ずつ、2 週間程度の実習に参加する。関連病院の実習先割り当てについては事前に当科から連絡します。

* オンライン実習の場合はオンラインでの PBL・講義に加え、教材を利用した学習やレポート作成などの実習を行います。

【その他の注意事項等】

- ◆時間厳守、無断欠席は不可、必ず届出をすること。
- ◆白衣・名札・ノート・筆記用具を持参すること。
- ◆服装・態度など患者に不快感を与えないように注意すること。
- ◆実習施設の規則等に従い、業務に支障をきたさないよう心がける。
- ◆実習の指導医の指示に常に従う。実習中トラブルや不慮の事故があった場合、必ず実習先の指導医及び精神医学講座に連絡すること。
- ◆実習における学生の基本的医行為については、各実習施設が決定し実施する。なお医行為は必ず指導に当たる医師の指導・監視のもとに行うこと。
- ◆駐車場は、患者優先とする。一番遠いところに駐車すること。

産科婦人科

【目標】

- 1 正常分娩の流れを理解し、また異常分娩への対応、病態について説明できる。
- 2 母体搬送の流れを理解する。
- 3 女性全般を対象とした診療について理解する。
- 4 婦人科腫瘍の病態、治療法について説明できる。
- 5 不妊治療の流れについて説明できる。
- 6 県内の産科婦人科診療において、大学病院、市中病院、個人医院の役割を理解する。

【実習の目的と概要】

本コースでは、大学及び地域の医療機関や個人医院において、産科婦人科医として必要な診断学、また女性に対する接し方、大学・地域の役割などを理解することを主な目的として実習を行う。多くの分娩が正常に進行していくが、正常であった分娩が突如異常分娩に変化し、適切な対応を取らなければ母児の生命を脅かすこともある。異常所見を早期に感知し、迅速で適切な医療介入について理解する。また胎児異常や母体搬送における、各医療機関の役割についても理解する。

一方、産科婦人科は「ゆりかごから墓場まで」と言われ、女性の一生を通して関わる科である。出生から思春期、妊娠・出産、腫瘍、女性のライフサイクルを担っており、その特殊性についても理解する。

実習では①担当患者を持ち、情報収集から身体診察までを指導医と共にこなし、②入院から退院までの患者のケアに関わり治療計画がたてれること、③正常分娩、異常分娩、ハイリスク妊婦や母体搬送現場に立ち会い、島根県の周産期に対する理解を深めること、④婦人科腫瘍、⑤生殖医学についての5点を中心に学んでもらう。また産婦人科特有の診察手技に加えて手術手技や腹腔鏡手術に関するトレーニングも行う。

【一般目標 GIO】

島根県内の大学及び地域医療の現場において、産科婦人科医のもとで、産科婦人科診療の概念を学ぶ。学生はカンファレンス、病棟実習、手術、分娩に積極的に参加し、入院から退院までの一連の流れ、治療方針を学び、医療者に必要な患者との関わり方を実践する。

【個別目標 SBO】

1. 主要な産婦人科疾患の病歴を正確に聴取できる。
 - * 主訴、現病歴の把握・整理
 - * 月経歴、妊娠・分娩歴、既往歴、家族歴の把握・整理
2. 産婦人科学的身体診察と基本的臨床手技を適切に実施し、鑑別診断・プロブレムリスト・診療録を作成できる
 - * 経膈超音波検査、膣鏡検査、子宮頸部細胞診
 - * 妊娠検査、妊婦腹部触診、胎児エコー、胎児心拍数モニタリングの判読
 - * 新生児の診察・採血、新生児の基本的な蘇生措置
 - * 静脈穿刺・採血、静脈内留置針の挿入と留置
 - * 滅菌手袋装着、手術着装着、消毒処置、皮膚縫合、基本的な創部包交

3. 頻度の高い産婦人科疾患の診断に必要な検査と治療計画を立てられる
 - * 検体検査：一般血液検査、病理検査、細胞診、遺伝学検査、免疫学検査、ウイルス学検査、内分泌学検査、動脈血ガス分析検査
 - * 画像検査：単純X線、CT、MRI、PET
4. 患者管理の基本を理解し、周術期管理・経膈分娩管理に参加できる
 - * 術前・術後の絶食・輸液療法計画・薬物療法計画を立案し、術後の患者モニタリングを行える
 - * 分娩の進行・胎児の状態を評価し、分娩管理計画・産褥管理計画を立案できる
5. カンファレンスに参加し、担当症例の病歴、産婦人科的所見、検査所見、治療経過を整理してプレゼンテーションできる
6. 腹腔鏡シミュレーターを用いて、腹腔鏡手技を実施できる
7. 患者・家族に接し、問題点を自ら発見し、解決するために指導医に提案することができる。
8. チームの一員としてコ・メディカルからの情報を得ることができる。

【評価方法】

総括的評価：ポートフォリオ、レポート、miniCEX、口頭諮問等により実習指導医並びに大学指導責任者により評価される。原則、1週間毎に実習施設の指導医から評価を受けフィードバックされる。また4週間の実習の最後の総括として各施設で実習した学生が集い大学指導責任者等に対して発表を行う。主に評価される項目は個別目標に準ずる。

実習提供者側への評価：最終日に実習を通じた学びと実習の改善案等の学生からのフィードバックも双方方向に実施する。

ねらい：	1	2	3	4	5	1	2	3	4	5
1) 将来、産婦人科医にならない場合にも必要な産婦人科領域の診察能力について学ぶ	<input type="checkbox"/>									
2) 産婦人科医のイメージを獲得する。	<input type="checkbox"/>									
学修目標（一部方略を含む）：										
1) 妊婦の周産期診察及び分娩に可能な範囲で参加する。	<input type="checkbox"/>									
2) 女性の健康問題に関する理解を深める。	<input type="checkbox"/>									
3) 主訴から診断推論を組み立てる、又はたどる。	<input type="checkbox"/>									
4) 疾患の病態や疫学を理解する。	<input type="checkbox"/>									
5) 手術を含めた婦人科的治療に可能な範囲で参加する。	<input type="checkbox"/>									
6) 基本的な婦人科診察技能について学ぶ。	<input type="checkbox"/>									
7) どのように産婦人科にコンサルテーションすればよいかわかる。	<input type="checkbox"/>									

指導医のコメント

指導医サイン

【方略：実習の流れと実習内容について】

＜実習担当医＞

大学：振り分けられた実習内容、症例によって担当医が決まります。

実習施設：実習先の指導医

＜実習初日集合時間・場所＞

実習開始前週の金曜日（医局から連絡があります）にオリエンテーション（30分程度）を行います。

実習は各担当場所に集まってください。詳細は別紙参照。

第1週	月	火	水	木	金
A	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	大学 AM：手術見学 PM：まとめ
B	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	大学 AM：手術見学 PM：まとめ
C	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	大学 AM：病棟 PM：まとめ
D	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	大学 AM：不妊外来 PM：まとめ
E	大学 AM：病棟 PM：カンファレンス	江田クリニック	大学 抄読会/予診	大学 手術見学	大学 AM：病棟 PM：まとめ
F	大学 AM：不妊外来 PM：カンファレンス	大学 病棟	江田クリニック	大学 手術見学	大学 AM：産科外来 PM：まとめ
G	大学 AM：腫瘍外来 PM：カンファレンス	大学 予診	吉野産婦人科	大学 産科外来	大学 AM：不妊外来 PM：まとめ
H	大学 AM：予診 PM：カンファレンス	大学 手術見学	大学 抄読会/病棟	大学 病棟	AM：吉野産婦人科 PM：大学でまとめ
I	大学 AM：不妊外来 PM：カンファレンス	大学 手術見学	大学 抄読会/教授外来	大学 手術見学	大学 AM：産科外来 PM：まとめ
J	大学 AM：病棟 PM：カンファレンス	大学 産科外来	大学 AM：抄読会 PM：手術見学	大学 病棟	大学 AM：予診 PM：まとめ
K	大学 AM：腫瘍外来 PM：カンファレンス	大学 産科外来	大学 抄読会/教授外来	大学 手術見学	大学 AM：予診 PM：まとめ

第2週	月	火	水	木	金
A	大学 AM：病棟 PM：カンファレンス	大学 産科外来	大学 抄読会/教授外来	大学 手術見学	大学 AM： miniCEX PM： まとめ
B	大学 AM：腫瘍外来 PM：カンファレンス	大学 産科外来	大学 抄読会/教授外来	大学 産科外来	
C	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	
D	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	
E	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	
F	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	
G	大学 AM：不妊外来 PM：カンファレンス	大学 手術見学	大学 抄読会/予診	大学 病棟	
H	大学 AM：腫瘍外来 PM：カンファレンス	江田クリニック	大学 AM：抄読会 PM：手術見学	大学 病棟	
I	江田クリニック	大学 予診	大学 抄読会/産科外来	大学 手術見学	
J	大学 AM：予診 PM：カンファレンス	大学 手術見学	大学 抄読会/病棟	大学 手術見学	
K	大学 AM：不妊外来 PM：カンファレンス	大学 病棟	吉野産婦人科	大学 手術見学	

第3週	月	火	水	木	金
A	大学 AM：コウノトリDVD または 内視鏡トレーニング PM：カンファレンス	江田クリニック	大学 抄読会/教授外来	大学 手術見学	大学 AM：病棟 PM：まとめ
B		大学 手術見学	江田クリニック	大学 手術見学	大学 AM：産科外来 PM：まとめ
C		大学 手術見学	大学 AM：抄読会 PM：手術見学	大学 病棟	大学 AM：予診 PM：まとめ
D		大学 産科外来	大学 抄読会/予診	大学 手術見学	大学 AM：不妊外来 PM：まとめ
E		大学 産科外来	大学 抄読会/教授外来	大学 病棟	AM：吉野産婦人科 PM：大学でまとめ
F		大学 予診	大学 抄読会/病棟	大学 手術見学	大学 AM：産科外来 PM：まとめ
G	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	大学 AM：DVD+内視鏡 PM：まとめ
H	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	
I	大学 AM：DVD+内視鏡 PM：カンファレンス	大学 病棟	大学 抄読会/病棟	大学 産科外来	大学 AM：不妊外来 PM：まとめ
J	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	大学 AM：DVD+内視鏡 PM：まとめ
K	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	

第4週	月	火	水	木	金
A	大学 AM：腫瘍外来 PM：カンファレンス	大学 予診	大学 AM：抄読会 PM：手術見学	大学 産科外来	大学 PM：まとめ
B	大学 AM：病棟 PM：カンファレンス	大学 手術見学	大学 抄読会/予診	大学 手術見学	
C	大学 AM：腫瘍外来 PM：カンファレンス	大学 病棟	吉野産婦人科	大学 手術見学	
D	大学 AM：不妊外来 PM：カンファレンス	吉野産婦人科	大学 抄読会/病棟	大学 手術見学	
E	大学 AM：不妊外来 PM：カンファレンス	大学 産科外来	大学 抄読会/産科外来	大学 手術見学	
F	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	松江赤十字病院	
G	大学 AM：予診 PM：カンファレンス	江田クリニック	大学 抄読会/教授外来	大学 手術見学	
H	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	大田市立病院	
I	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	浜田医療センター	
J	江田クリニック	大学 手術見学	大学 抄読会/教授外来	大学 病棟	
K	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	益田赤十字病院	

*10人、12人の週は少し予定が変更になります。Moodle内に予定表が入っています。

各病院の注意事項もありますのでMoodleを確認ください。

*Web実習になった場合には予定が変更になる可能性があります。

【地域実習候補先】

松江赤十字病院

浜田医療センター

大田市立病院

益田赤十字病院

江田クリニック産婦人科

吉野産婦人科

【その他の注意事項等】

- ◆女性の身体診察は必ず二人以上で行うこと。
- ◆患者の人権やプライバシーに十分配慮して行動すること。
- ◆実習で得られた個人情報は他人に漏らさないこと。
- ◆医療者としての振るまいに注意すること。
- ◆実習日から過去2週間分の自己健康管理票を携帯し、確認された場合提示すること。
- ◆体調不良等で欠席・遅刻する場合は必ず実習先と島根大学の産科婦人科学講座に連絡すること。
- ◆実習施設の規則等に従い、業務に支障をきたさないよう心がける。
- ◆実習の指導医の指示に常に従う。実習中トラブルや不慮の事故があった場合、必ず実習先の指導医及び島根大学の産科婦人科学講座に連絡すること。
- ◆実習における学生の基本的医行為については、各実習施設が決定し実施する。なお医療行為は必ず指導に当たる医師の指導・監視のもとに行うこと。

耳鼻咽喉科・頭頸部外科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:15
 (2) 集合場所 B病棟 8階カンファレンス室

2 実習概要（実習内容）

1 週間を通して耳鼻咽喉科・頭頸部外科の診療に参加する。

外来・入院患者における診療（問診，診察，回診，手術）およびカンファレンスに参加する。

2～3名の学生で，入院患者を1名で受け持ち，担当患者さんの問診，診察，検査から得た情報を整理し，プレゼンテーションを行うとともに，実際に助手として手術に参加する。

3 スケジュール（ハイブリット）

曜日	担当教員	AM	PM
月	坂本	8:15～カンファレンス オリエンテーション 手術介助	手術介助
火	青井 森倉	8:30～外来見学	15:00～教授回診 15:30～カンファレンス
水	清水（保） 清水（香）	8:15～カンファレンス 手術介助	手術介助
木	柴田	8:30～病棟処置 聴覚・平衡機能検査実習	診察練習 プレゼンテーション作成 オンライン講義
金		8:45～手術介助	オンライン症例発表

4 スケジュール（オンライン）

	担当教員	AM	PM
月	坂本	オンライン講義/オンデマンド講義	
火	青井	オンライン講義/オンデマンド講義	
水	森倉	オンライン講義/オンデマンド講義	
木	清水（保）	オンライン講義/オンデマンド講義	
金	清水（香） 柴田	オンライン講義/オンデマンド講義	

5 評価方法

クリニカルクラークシップ評価項目に基づき、評価する。

眼 科

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 月 10:00 8階B病棟 眼科診察室
- (2) 集合場所 火 9:00 手術室
 水 14:00 手術室
 木 15:00 眼科カンファレンスルーム（臨床研究棟 5F）
 金 9:30 眼科カンファレンスルーム

2 実習概要（実習内容）

スケジュール表参照

3 スケジュール（対面）

曜日	担当教員	午前	午後
月	山根、小村	10:00（8B病棟 眼科診察室） 細隙灯、眼底、眼圧検査実習	14:00 講義（眼底所見の見方） 15:00 医局カンファレンス参加 16:15 検査演習（眼科外来）
火	杉原	9:00 手術見学	
水	原野、河野、 真鍋、山根、筒井	レポート作成	14:00 手術見学（手術室） 15:15 豚眼での白内障手術実習
木	佐野、児玉	レポート作成	15:00 豚眼を用いた眼球解剖実習 16:00 講義（眼科腫瘍）
金	谷戸	9:30 総括	

4 スケジュール（オンライン）

曜日	担当教員	午前	午後
月	山根、小村	10:00 眼科イントロダクション	13:00 講義
火	真鍋		13:00 講義
水	山根		15:00 クリニカルクエスチョン演習
木	佐野、児玉	9:00 クリニカルクエスチョン演習	16:00 講義
金	谷戸	9:30 総括	

5 評価法

出席点，履修態度，レポート

6 その他の注意事項等

- ・レポートの課題は Moodle に掲載します。
- ・時間等変更がある場合、実習開始前にわかっているときは最新版を Moodle 上に掲載します。実習開始後に変更がある場合は、その都度連絡します。

放 射 線 科

1 集合時間・集合場所

	月		火		水		木		金	
	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後	午前	午後
集合時間	9:00	13:00	9:00	12:45	9:00	13:00	9:00	13:00	9:00	13:00
集合場所	放射線科医局 カンファレンス室	中央放射線部 血管造影室	放射線科医局 カンファレンス室							

2 実習概要（実習内容）

各種画像診断法の基礎，正常画像解剖の基礎。

3 G I O（一般目標）

診断に必要な放射線診断学の基礎知識を習得する。

4 S B O（到達目標）

- (1) 胸部単純X線写真が順序だてて読影できる。
- (2) 肺・縦隔の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列挙して，その画像上の特徴を記述できる。
- (3) 消化管の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列挙して，その画像上の特徴を記述できる。
- (4) 腹部の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列挙して，その画像上の特徴を記述できる。
- (5) 中枢神経系の正常解剖について説明でき，代表的な疾患を列挙して，その画像上の特徴を記述できる。
- (6) 血管造影の方法・意義を説明できる。
- (7) MRIの原理・意義を説明できる。
- (8) CTの原理・意義を説明できる。
- (9) RIの意義とその適応疾患を説明できる。

5 スケジュール（対面）

曜日	担当教員 AM/PM	9:00	12:00	13:00	16:50
月	楫／中村	9:00～ オリエンテーション、画像診断総論		13:00～ IVR 検査見学	
火	勝部／山本泰	9:00～ 頭部画像診断		12:45～ 症例検討、IVR シミュレーター実習	
水	勝部／吉廻	9:00～ 胸部画像診断		13:00～ 核医学	
木	黒田／安藤	9:00～ 骨軟部画像診断		13:00～ IVR レクチャー	
金	山本／楫	9:00～ 急性腹症		13:00～ 発表とまとめ	

スケジュール（オンライン）

曜日	担当教員 AM/PM	9:00	12:00	13:00	16:50
月	楫／中村	9:00～ オリエンテーション、画像診断総論		13:00～ IVR 検査見学	
火	勝部／	9:00～ 頭部画像診断			
水	勝部／吉廻	9:00～ 胸部画像診断		13:00～ 核医学	
木	黒田／安藤	9:00～ 骨軟部画像診断		13:00～ IVR レクチャー	
金	山本／楫	9:00～ 急性腹症		13:00～ まとめ	

6 評価法

初日に与える課題について自己学修を行い、EPOC に記載された部分を評価対象とする。まとめの時間では、下記の順番で画像を読影する様子を評価する。

各担当教員が達成度をチェックして評価する。画像診断に関しては基本的なチェック項目と評価基準を初日に説明する。

- ・ 見ている画像の種類を説明する
- ・ 描出臓器の名称を言える
- ・ 異常所見の存在位置、性状を客観的な言葉で言える
- ・ 観察した結果をまとめ、どのように解釈するか述べる
- ・ 疑われる診断名と病変の拡がり述べる

7 その他の注意事項等

教科書・ノート・筆記用具持参

患者さんに不快感を与えない服装

参考書籍として無料で閲覧できるオンライン教材「画像診断ガイドライン 2016」

URL： http://www.radiology.jp/content/files/diagnostic_imaging_guidelines_2016.pdf
 を利用する。（最新版である「画像診断ガイドライン 2021」を購入してもよい）

放射線治療科

1 集合時間・集合場所

	月		火		水		木		金	
	午前	午後								
集合時間	9:00	13:20	9:00	13:20	9:00	13:20	9:00	13:20	9:00	13:20
集合場所	治療 計画室									

2 実習概要（実習内容）

- (1) 放射線治療の基礎となる放射線腫瘍学に関する知識の習得と整理を行う。
- (2) 放射線治療の適応決定のプロセスや治療の実際を見学する。
- (3) 腔内照射や組織内照射の治療の概要を学ぶ。

3 GIO（一般目標）

放射線腫瘍学の基礎知識を習得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 放射線治療の基礎となる放射線腫瘍学・放射線生物学の知識を取得する。
- (2) がん診療における放射線治療の意義と目的を理解する。
- (3) 放射線治療の適応となる代表的な疾患の治療方針・方法を習得する。
- (4) 放射線治療計画の基本を習得し、概要を習得する。
- (5) 放射線治療の有害事象と対策を理解する。
- (6) 密封小線源治療の基本を習得し、概要を理解する。
- (7) アイソトープ治療の基本を習得し、概要を理解する。
- (8) 放射線被曝と防護の必要性と方法について習得する。

5 スケジュール（対面）

曜日	担当教員	午前	午後
月	玉置・園山・植	外来見学、レクチャー	治療計画実習
火	玉置・園山・植	外来見学、治療計画実習、レクチャー	カンファレンス、レクチャー、密封小線源治療
水	玉置・園山・植	外来見学、治療計画実習	カンファレンス、密封小線源治療
木	玉置・園山・植	レポート作成	レクチャー
金	玉置・園山・植	治療計画実習総括	カンファレンス、レポート発表、総括

6 スケジュール（オンライン）

- ・1日1回は Webex 等を用いて、双方向性のレクチャーおよび講義を行う予定
- ・また、空いている時間を利用して、レクチャーの受講やレポートを作成する。
- ・レポートの発表は、原則最終日に、Webex 等を利用して適宜質疑応答を交えて行う。
- ・時間帯については、初回については前週の木曜日か金曜日に当科より連絡する。
- ・2日目以降については、前日のレクチャー時に連絡する。
- ・レポートの形式や実習の詳細な概要等は、初日に Webex 等を用いて説明を行う。

7 評価法

各担当教員が達成度をチェックして評価する。

8 その他注意事項等

教科書（やさしくわかる放射線治療学：秀潤社）・ノート・筆記用具持参

患者さんに不愉快を与えない服装を心がける。

麻 酔 科

1 集合時間・集合場所

(1) 集合時間 8時00分

(2) 集合場所 手術室内の記録室 (10ルームの前)

*状況によりスケジュールは適宜変更となります。

*完全オンライン実習となった日は、プロシージャークンサルトなどの教材による自習とします。

2 実習概要 (実習内容)

「麻酔科学は全身管理学・周術期管理学である」ことを念頭に診療に参加してください。意識、気道、呼吸、循環をはじめとした周術期における全身管理に参加し、麻酔管理について理解を深めていきましょう。また、当実習では急性期医療における基本的手技、管理を習得する参加型臨床実習を行います。医学知識だけでなく、コミュニケーション能力を発揮し、臨床能力や問題解決能力、医療の質と安全の考えを身につける場としましょう。詳細は Moodle で確認してください。

3 スケジュール

	月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日
AM	8:00 手術室記録室	8:00 手術室記録室	8:00 手術室記録室	8:00 手術室記録室	8:00 手術室記録室
	08:30～ 麻酔導入見学 担当症例割振り	08:30～ 担当症例周術期管理	08:30～ 麻酔導入見学 09:30～ 術後診察 レポート作成	08:30～ 担当症例周術期管理	総合討議 レポート発表
PM	担当症例カルテ予習 担当症例術前診察 麻酔計画など	担当症例周術期管理	シミュレーション 実習 担当症例術前診察 麻酔計画など	担当症例週術管理	総合討議 (予備) レポート作成
	自習	自習	自習	レポート作成	

4 評価方法

完全オンラインの場合も実臨床の場合も、ディスカッション時の発言、受け答えの内容など参考にし、積極的な姿勢があったかも評価します。また、提出されたレポートの内容も評価の対象とします。

担当教員：麻酔科医師一同

総合討議担当：二階哲朗 森英明 横井信哉

緩和ケア

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 9:00 (月曜日)
- (2) 集合場所 麻酔科 (ペインクリニック・緩和ケア) 外来

2 実習概要 (実習内容)

緩和ケア担当教員の指導の下に臨床実習を行う。

3 GIO (一般目標)

緩和ケア担当教員の指導の下に臨床実習を行い、多職種カンファレンスに参加してチーム医療を学ぶことで、緩和ケアの基本を習得する。

4 SBO (行動目標)

- (1) 緩和ケアの概念について理解する。
- (2) 根治が難しい疾患の病態を理解する。
- (3) 全人的な苦痛を理解して、その分類ができる。
- (4) 痛みを緩和するための知識とその対応法を理解する。
- (5) 痛み以外の症状についての知識とその対応法を理解する。
- (6) チーム医療の必要性とその構成について学ぶ。
- (7) 生命の尊厳および医療倫理を理解し、行動することができる。
- (8) 患者の価値観と権利を理解し、患者の立場に立って行動することができる。
- (9) 患者と家族の悩みや心配を傾聴し、共感することができる。
- (10) 呼吸不全および心不全など非癌患者における Advance Care Planning および治療に関する withdrawal など治療差し控えのプロセスを理解する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30	12:00	13:30
月	橋本 田村 蓼沼 二階	オリエンテーション, 医療面接		病棟カンファレンス, 病棟実習
火		チーム回診		チームカンファレンス, 病棟実習, 振り返り
水		外来, 病棟実習		病棟実習, 振り返り
木		チーム回診		病棟実習, 振り返り
金		チーム回診または病棟実習		症例発表, まとめ・総括

※ 症例があれば, ICU 実習を行う (火曜午前または金曜午後)

6 評価法

出席状況，実習態度，レポートなどを総合的に評価する。

7 その他注意事項

時間を守ること。患者さん・ご家族に不快感を与えない身だしなみと態度に配慮すること。患者さん・ご家族のプライバシーの尊重と情報の守秘義務を守ること。

歯科口腔外科

1. 集合時間・集合場所
月，金：8：30・第2研究棟1階（歯科口腔外科 医局）
火～木：9：00・附属病院3階（歯科口腔外科 外来）
2. 実習概要（実習内容）
 - (1) 歯科口腔外科および口腔ケアセンターの外来・入院診療や手術を見学・介助し，担当症例のカンファレンスおよび入院患者さんの総回診に出席する。
 - (2) 個別に主治医と共に入院患者さんを担当し，実際の症例について疾患の病態と治療について理解を深め，レポートを作成する。
3. GIO（一般目標）
全人的医療の中での口腔顎顔面の重要性を理解する。
4. SBO（到達目標）
 - (1) 診療を見学・体験し，歯科口腔外科の診療内容について理解を深める。
 - (2) 口腔顎顔面の疾病についての病因，病態，治療，予後について説明できる。
5. スケジュール

曜日	担当教員	午前	昼 休 憩	午後
月	管野，奥井 辰巳，松田， 大熊	8:30～12:30 ・オリエンテーション（症例 配当） ・病棟処置，手術介助	12:30 ～ 13:30	13:30～16:00 ・手術介助
火	管野，奥井 辰巳，松田， 大熊	9:00～12:30 ・外来診察介助（半数が参 加） ・レポート作成，論文検索	同上	14:30 ・手術症例検討会
水	管野，奥井 辰巳，松田， 大熊	9:00～12:30 ・レポート作成，論文検索	同上	13:30～16:00 ・手術介助
木	管野，奥井 辰巳，松田， 大熊	9:00～12:30 ・外来診察介助 （火曜日参加しなかった学 生が参加） ・レポート作成，論文検索	同上	13:30～15:30 ・レポート作成，論文検索 15:30～17:30 ・総回診，カンファレンス， 症例検討発表
金	管野，奥井 辰巳，松田， 大熊	8:30～12:30 ・レポート提出，手術介助	同上	13:30～16:00 ・手術介助

6. 評価法
 - ・ 出席状況, 履修態度
 - ・ レポート

- 7 その他注意事項等
 - ・ 時間厳守
 - ・ 服装, 身だしなみに気をつけること
 - ・ 患者の個人情報の秘匿
 - ・ 患者の臨床画像の取り扱いは指導医の指示に従うこと

臨床検査医学

検査部・輸血部・病理部・薬剤部

I. 臨床検査医学・検査部・輸血部・病理部

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 午前 9:00 午後 13:30
 (2) 集合場所 外来棟 2階 検査部ポリクリ室

2 実習概要（実習内容）

医師として必要な臨床検査医学・輸血医学・病理診断学の基本を実技実習と検査成績の解析を通して学ぶ。

3 GIO（一般目標）

それぞれの検査の意義，手技と方法，検査値とその解釈の方法を学ぶことにより，臨床検査における検体採取から測定に至る過程と注意点を修得し，さらには疾病診断における臨床検査および病理診断の意義を理解し，その正しい利用法を修得する。

4 SBO（到達目標）

- (1) 検査オーダーから測定までの手順を説明する。
- (2) 静脈採血を実施し，適切な検体処理を行う。
- (3) 全血球数算定（CBC），血液凝固，血液生化学の基本的検査を実施する。
- (4) 尿沈渣標本，末梢血塗抹標本，細菌塗抹標本を作製，鏡検し，血球および細菌を分類する。
- (5) 血液型検査と交差適合性試験を実施して，その原理と手順を修得し，輸血の可否を判定する。
- (6) 病理標本作製の過程を説明する。
- (7) 病理組織標本の観察を行い，病理診断の進め方を理解する。
- (8) 心電図，呼吸機能検査，筋電図，神経伝導速度，脳波を記録し，判読する。
- (9) 遺伝子検査の原理を理解する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	9:00 午前 12:30	担当教員	13:30 午後 16:30
月	矢野	静脈採血と基本的検査 Reversed CPC	石飛(文)	14:00～ 尿・一般検査
火	病理部 荒木	9:30～ 病理部見学・実習	後藤 竹内	13:00～ 遺伝子検査 14:30～ 微生物実習
水	薬剤部	薬剤部の項を参照	新田	13:15～ 生理機能検査実習
木	石原	輸血検査実習	吉富	心電図判読演習 Reversed CPC
金	輸血部 井上	10:30～ 輸血セミナー	小林	小児の検査・マスキリーニング

6 評価法

実習態度及び実習中の口頭試問・小テスト等で総合的に評価する。

7 その他注意事項等

集合時間を守ること。

II. 薬剤部

1. 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 水曜日 9:00
- (2) 集合場所 附属病院C病棟1階薬剤部内 薬剤師室

2. 実習概要（実習内容）

- (1) 処方鑑査・解析：処方箋を用いて処方鑑査を行い、適正な処方を作成する上での注意点を理解する
- (2) 注射剤混合調製：注射剤の無菌混合調製を薬剤師の指導の下で実践することにより、薬剤調製にかかわる知識ならびに技能を習得する
- (3) チーム医療：ICU 病棟において薬剤師が実施する薬学的管理を見学することにより、チームアプローチによる薬物療法適正化の重要性を理解する

3. G I O（一般目標）

医師として必要な処方作成および薬剤調製のための知識および技能を習得するとともに、チーム医療の重要性について理解する

4. S B O（到達目標）

- (1) 適正な処方箋が作成できる
- (2) 医療過誤防止のための処方鑑査の重要性を説明できる
- (3) 注射剤無菌調製が適切に実施できる
- (4) 薬物療法適正化のための薬学的管理の重要性を説明できる

5. スケジュール

時刻	実習項目（場所）	担当教員等
9:00～9:10	全体説明（薬剤師室）	矢野, 玉木
9:10～10:10	処方鑑査（調剤室） または 注射剤無菌調製（無菌製剤室）	坪ほか または 中村ほか
10:10～10:20	休憩・移動	
10:20～11:20	注射剤無菌調製 （外来化学療法室薬剤ミキシング室） または 処方鑑査（調剤室）	玉木, 陶山, 洪江ほか または 坪ほか
11:20～11:30	休憩・移動	
11:30～11:50	薬学的管理（ICU）	大仁田, 石原ほか
11:50～12:00	評価（薬剤師室）	矢野, 玉木

6. 評価方法

出席状況、実習態度、実習中の口頭試問等により総合的に評価する

7. その他注意事項

- ・ 集合時間を厳守すること
- ・ 白衣を着用すること
- ・ 欠席する場合は事前に連絡（下記）をすること
- ・ 医療者としての身だしなみと態度に気をつけること

救急医学

1 集合時間・集合場所

実習 : 月曜日 9:00 に救急外来カンファレンス室

(オンラインのみの場合 : 月曜日 10:00 にオンラインオリエンテーション)

2 実習概要 (実習内容)

- ・日勤 9:00~18:00, 遅番 12:00~21:00
- ・毎日 9:00~と 18:00~ 救急外来カンファレンス室で申し送りあり
- ・日勤に入る人は 9:00 に救急外来カンファレンス室、遅番に入る人は 12:00 に救急外来カンファレンス室へ集合
- ・日勤は 18 時の申し送りに出て終了、遅番は 21 時頃患者が途切れたところで終了
- ・火曜か水曜のどちらかは遅番に入る
- ・病院実習の際は、手術室更衣室で術衣へ着替え、白衣を持参して救急外来カンファレンス室へ集合
- ・食事は、患者の落ち着き具合などで適宜とること。救急外来カンファレンス室での食事は可。

消防実習について

- ・1 人 1 回消防署での救急車同乗実習に参加してください(詳細別紙)
- ・実習開始時刻が 8:30~となっていますが、8:30 にラジオ体操参加から開始のため 10 分ほど前には消防署に到着すること。

3 GIO (一般目標)

救急医療の現場に入り、病院前から救急外来での患者さんになされる診療を理解することで救急医療に果たす役割を理解する。

4 SBO (到達目標)

- (1) 救急医療をとりまく時代的、地理的背景を理解する
- (2) 病院前救急医療のシステムと救急隊員の工夫を説明できる
- (3) 島根大学病院の救急医療体制について説明できる
- (4) 救急外来を受診した患者を時間軸を意識して診療を組み立てることができる
- (5) 患者の重症度、緊急度を意識した診療を行うことが出来る
- (6) 患者の身体的訴えの背景にある社会的心理的事情にも思いを寄せることが出来る

5 スケジュール

	月	火 (遅番の場合)	水 (日勤の場合)	木	金
9:00	オリエンテーション		申し送り	8:30- 消防署実習	申し送り
	ER 実習	12:00- ER 実習			ER 実習 まとめ
18:00	申し送り 実習終了	申し送り	申し送り 実習終了		申し送り 実習終了
21:00		実習終了			

※オンラインのみの場合は1日1コマ以上のオンライン講義 (予定)

6 評価法

担当教員が出席，実習態度，レポートにより評価する

7 その他

救急車同乗および救急外来では服装，言葉使いには気をつけること。サンダル，ジーンズ，派手なシャツ，香水などは不可

※※なお、臨床実習とは別に ER での自主的に実習に入りたいという方がいましたら、別途岩下へメールください

Acute Care Surgery

1 集合時間・集合場所

- (1) 集合時間 8:30 (火曜日は7:30 から抄読会と全症例カンファレンス)
- (2) 集合場所 高度外傷センター棟 2階医局
*オンライン実習の場合は別途指示をする。

2 実習概要

- (1) 高度外傷センターにおける外傷初期診療, 救急外科初期診療を指導医と共に
行う。
- (2) ICU, HCUおよびE-ICUにおける入院患者の診療を学ぶ。
- (3) 緊急手術に参加して外傷外科・救急外科の手術法について学ぶ。
- (4) 術後集中治療について, ICU, HCUおよびE-ICUでの術後管理に参加
する。
- (5) ドクターカー・ドクターヘリなどの病院前診療について学習する。
- (6) 災害医療について学習する。
- (7) Surgical rescue について学習する。

3 GIO (一般目標)

外傷診療および救急外科疾患における初期対応から手術適応の判断, 手術手技,
術後集中治療の流れを理解し, それぞれの概要を習得する。災害医療の考え方を
習得する。

4 SBO (到達目標)

- (1) 外傷初期診療の流れを把握する
- (2) 救急腹部疾患における診療の流れを把握する
- (3) 身体所見から患者の重症度の判断ができる
- (4) 外傷初期診療の優先順位を理解し, 治療戦略を説明できる
- (5) 救急病態の手術の適応と必要な治療法を理解する
- (6) 術後集中治療に必要な診察, 検査, 治療に関して理解する。
- (7) 病院前診療の特殊性について理解する。
- (8) 災害医療の基本事項を理解する。
- (9) Surgical rescue について理解する。

5 スケジュール

曜日	担当教員	8:30-	9:00-15:00	15:00-17:00
月	渡部 比良 木谷	新患・重症 カンファレ ンス	外傷センター初期診療 実習・手術見学・ICU 管理実習・病院前診療 実習・院内急変対応実 習	外傷センター初期診療 実習・手術見学・ICU 管理実習・病院前診療 実習・院内急変対応実 習
火	下条 岡 室野井	抄読会, 全症例カン ファレンス		
水	藏本	新患・重症		
木	川口	カンファレ ンス		
金				

※火曜日は7:30 から抄読会，全症例カンファレンスと教授回診

- ・月曜日、火曜日は外傷初期診療（PS、SS）、FAST、画像診断、decision making（災害医療）の実習を行う。実習終了時に、webの確認テストと翌日までの課題を指導医と決めて実習終了とする。
- ・水曜日～金曜日は、体験型実習（ER、重症管理、夜勤）を実施する。
- ・毎日実習終了時に、本日の実習の成果と明日までの課題を指導医と決めて実習終了とする。
- ・翌日までの課題は必ず帰宅後に行い、翌日指導医にその成果を伝えること。

6 評価法

外傷初期診療における基本事項と基礎的スキルの習得のためのレクチャーを月曜日から火曜日にかけて行う。これらの知識を統合して水曜日から参加型実習を指導医とともに行う。評価は、基本事項、スキル、参加型実習の成果など総合的到達度で評価する。また Active learning を重視し、事前学習をしっかりと行うこと。自習を含めた自ら学び取ろうとする態度・姿勢も評価指標とする。

その他、出席状況、実習態度等による総合評価とする。

7 その他注意事項

- (1) 実習終了後は、毎日医局に用意されている QR コードから確認テスト（月曜、火曜部）または本日の実習の成果（水曜～金曜）と明日までの課題を入力して帰宅すること。
- (2) 高度外傷センター初療室およびハイブリッドER室は手術室空調のため、手術室と同様の入室手順で入室すること。
- (3) 救命救急センターおよび高度外傷センター内では適切な P P E を装着すること。

- (4) センター内は術衣のみで活動して良いが、術衣のみで外傷センターおよび救命救急センター外を出歩かないこと（適切な服装で）。
- (5) ドクターカーの同乗には事前の安全講習を受けなければ同乗できない。実習開始時に同乗までに指導医から必ず講習を受けること。
- (6) ドクターカーは消防の要請から3分で出動するため、時間内に参集できない場合は同乗できない。
- (7) 服装・態度に注意すること。
- (8) 患者への言葉遣いに注意する。不用意な発言を慎むこと。
- (9) 個人情報の取り扱いと守秘義務を遵守すること。
- (10) 白衣・聴診器を持参すること。
- (11) Trauma team activation systemに各個人のメールアドレスを登録するので、トラウマ・コードが発動されたときは、外傷センターに集合すること。この場合、実習時間外での参加も許可する。
- (12) 体調不良など実習を休む場合は必ず、下記連絡先に連絡をすること。無断欠席は実習態度評価の減点対象とする。
- (13) 社会人としての自覚を持った行動を行うこと。
- (14) 時間は厳守すること。

病棟案内略図

病棟配置

【C病棟】

9F	女性・個室病棟
8F	先端がん治療センター病棟
7F	MCU
6F	小児センター病棟
5F	緩和ケア病棟
4F	(設備階)
3F	手術部
2F	ICU、HCU、MEセンター 救命救急センター病棟
1F	救命救急センター、材料部 高度外傷センター、薬剤部

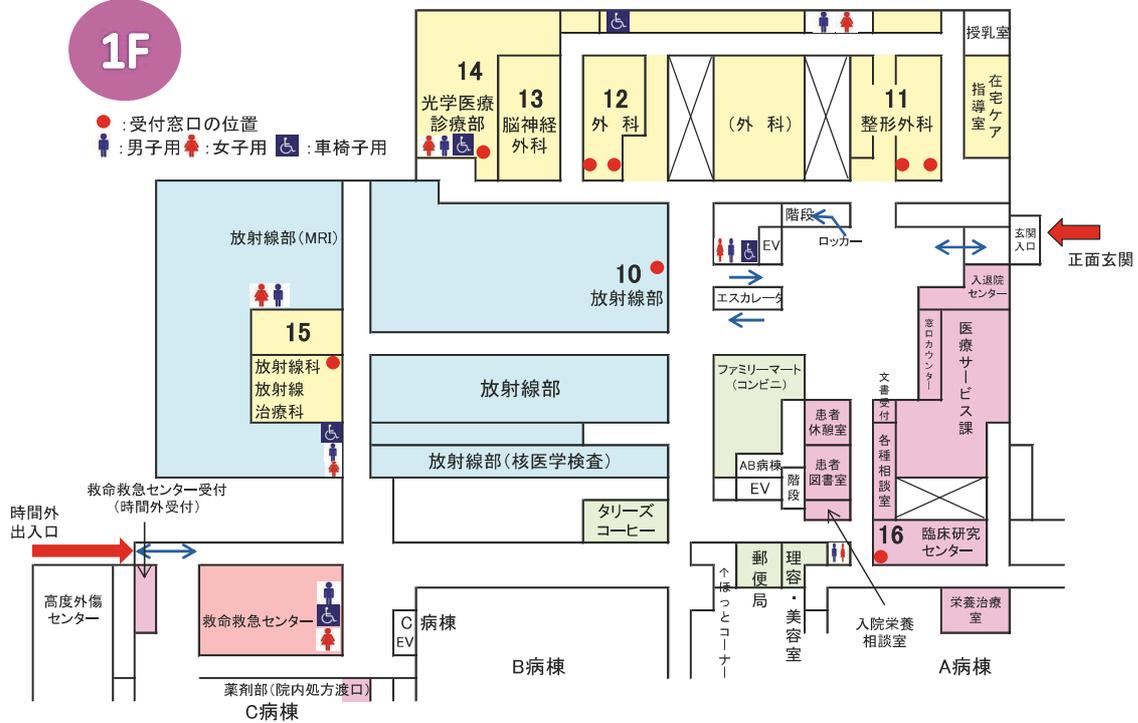
【B病棟】

【A病棟】

耳鼻咽喉科、眼科 消化器内科	精神科神経科	8F
消化器フロア		7F
消化器総合外科	消化器内科、肝臓内科、消化器総合外科	
循環器・呼吸器フロア		6F
呼吸器・化学療法内科、心臓血管外科 総合診療科、呼吸器外科、整形外科	循環器内科、呼吸器・化学療法内科	
脳神経フロア		5F
脳神経外科、泌尿器科、小児科	脳神経内科、泌尿器科	
膠原病内科、皮膚科 放射線科、放射線治療科、麻酔科 RI・シード、歯科口腔外科、婦人科	内分泌代謝内科、血液内科、腫瘍内 科 腎臓内科	4F
産科、婦人科、MFICU、整形外科		3F
患者家族待合室 医師当直室、スタッフ室等	認知症疾患医療センター 外来・入院栄養相談室、スタッフ室等	2F
SPDセンター、リネン Aiセンター、剖検室等	栄養治療室 患者給食厨房、臨床研究センター	1F

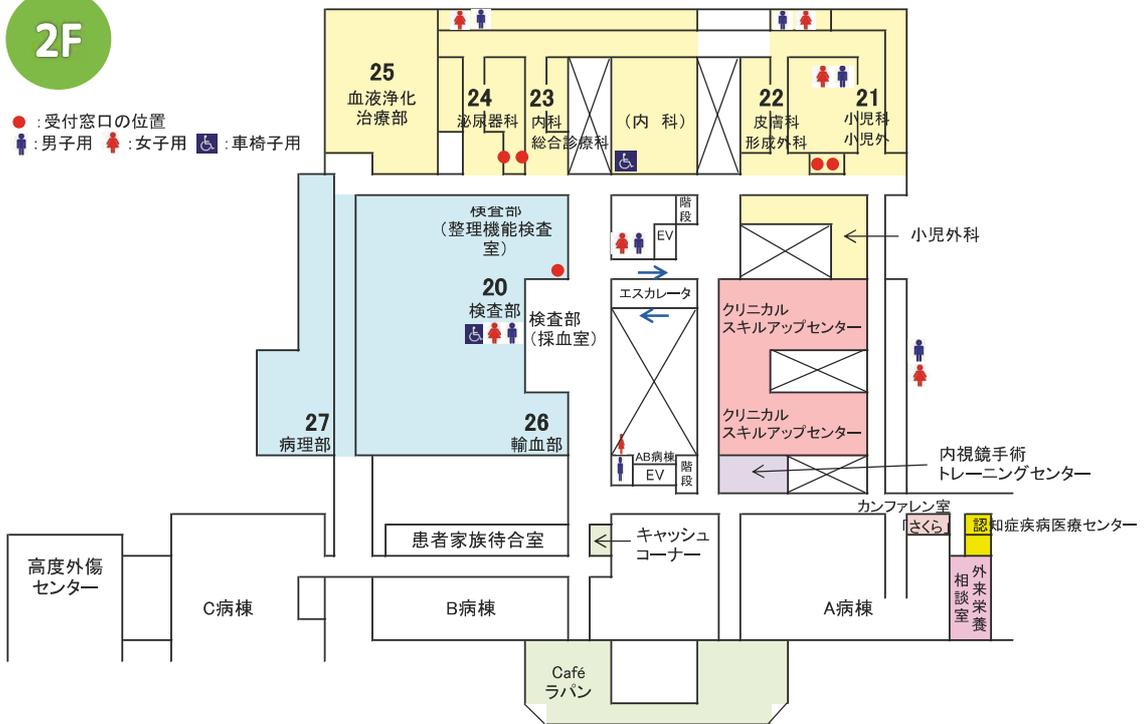
1F

- : 受付窓口の位置
- ♂ : 男子用 ♀ : 女子用 ♿ : 車椅子用



2F

- : 受付窓口の位置
- ♂ : 男子用 ♀ : 女子用 ♿ : 車椅子用



3F

- : 受付窓口の位置
- ♂ : 男子用 ♀ : 女子用 ♿ : 車椅子用

